

# New Adventures

〔発行〕駿河台大学 グローバル教育センター  
〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698 Tel (042) 972-1218



## INDEX

- ② 長期留学制度の特徴
- ③ 長期留学をするために
- ④ 2019年度 長期留学応募資格
- ⑥ 留学へのスケジュール
- ⑧ 長期留学提携校紹介
- ⑬ 海外・語学研修授業紹介 現代文化学部のみ
- ⑭ 短期留学(海外語学演習)
- ⑯ 留学体験 STUDENTS REPORT  
留学して経験したこと、得たもの…2017年度交換・派遣留学生の留学体験記
- ⑰ NEW CHALLENGERS 2018 ~新たな冒険者たち~  
春から留学を開始する2018年度交換・派遣留学生が意気込みを語る!
- ⑳ 2017年度 日本留学の思い出  
2017年度ドイツ・ミュンヘン大学、中国・聊城大学からの交換留学生による留学の感想

半年・1年

駿河台大学では、長期留学提携校として、  
世界8カ国・11大学と  
交換・派遣留学協定を結んでいます。

# 長期留学制度の特徴

提携大学との留学の形態は、「交換留学」「派遣留学」の2種類があり、留学期間は半年または1年です。駿河台大学では、この長期留学制度を利用する学生を、

①学業、②費用、③留学手続き・生活の3つの面からサポートします。



駿河台大学の3つのサポート

1 Support

学業のサポート

## 4年間で卒業が可能

- ・留学期間も駿河台大学で学んだ年数に算入されるため、**4年間で卒業が可能**です。
- ・留学先での学習が駿河台大学の単位として認定され、**留学中も最大40単位修得することが可能**です。(留学前の履修登録、留学後の単位認定については、所属する学部の教務課で確認してください。特に、教職・資格課程履修者については、事前に教職・資格課程担当者に相談をしてください。)

2 Support

費用のサポート

## 留学先の授業料を大学がサポート さらに、往復の航空券・奨学金を支給

- ・**留学先の授業料を大学がサポート**します。  
海外の大学の授業料は通常年間200万円以上になることも珍しくありませんが、この長期留学制度を利用すると、**駿河台大学の学費を支払えば**、留学先大学の学費ならびにそれに準ずる費用を駿河台大学が負担します。
- ※ただしパスポートやビザ申請等の留学前の諸費用、および宿泊(寮)費、食費などは**自己負担**となります。留学先にもよりますが、**年間100万円～300万円程度**と考えてください。
- ・**往復の航空券を支給**します。  
渡航先によっても異なりますが、往復航空券は、通常20～60万円程度かかります。その往復の航空券も大学が用意します。
- ・**奨学金10万円を給付**します。  
「駿河台大学留学奨学金」として、ひとり10万円を給付します。給付奨学金なので返還義務はありません。

3 Support

手続き・生活のサポート

## 留学決定後から留学終了まで教職員がサポート

- ・留学先大学への願書提出や、住まいの確保、ビザの取得など、留学に伴う諸手続きはグローバル教育センター委員(教員)がサポートします。
- ・留学事前指導(ガイダンス)を行い、安心して留学ができるようにします。
- ・留学中には、駿河台大学の教職員が主にE-mailを利用して留学をサポートします。留学中に起こった生活面、学業面での悩みも気軽に相談できます。
- ・留学中には専門機関による危機管理サポートや海外健康サポートを受けることができます。24時間365日、日本語による相談が可能です。本人だけでなく、保証人様も利用することができます。



# 長期留学をするために

交換・派遣留学生として提携大学へ長期留学するためには、下記の応募資格を満たし、グローバル教育センターが実施する長期留学選考に合格しなければなりません。  
なお、いきなり長期留学は不安もあると思いますので、まずは「海外語学演習」に参加してみることもお勧めします。

## 応募資格

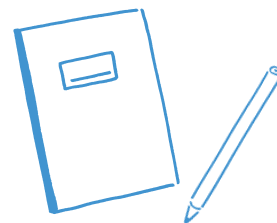
### I. 本学への学費が遅滞なく納入されており、今後も遅滞なく納入されること

### II. 留学の時点で、本学において1年以上修学していること

面接選考は、留学する前年度に行います（1年次・2年次・3年次生が応募できます）。

※編入生の場合は、留学までに最低1年間駿河台大学に在籍していることが条件です。

※ロンドン大学 SOAS、バーミンガム大学は、2年次生の派遣はありません。



### III. 必要とされる語学能力が一定のレベルに達していること

#### 〔英語圏への留学〕

| 大 学                 | TOEIC | TOEFL |     | IELTS | 英検  |
|---------------------|-------|-------|-----|-------|-----|
|                     |       | ITP * | iBT |       |     |
| ロンドン大学 SOAS         | ×     | ×     | 52  | 4.0   | ×   |
| バーミンガム大学            | ×     | ×     | 61  | 4.0   | ×   |
| カンタベリー・クライスト・チャーチ大学 | 385   | 430   | 39  | 3.0   | 2 級 |
| カリフォルニア州立大学 イーストベイ校 | 385   | 430   | 39  | ×     | 2 級 |
| カリフォルニア大学 サンディエゴ校   | 385   | 430   | 39  | ×     | 2 級 |
| モナシュ大学              | 385   | ×     | ×   | 3.5   | ×   |

※TOEIC、TOEFLのスコアはいずれも2016年4月以降に受験したものが有効です。

※実用英語技能検定は、2015年4月以降に合格した通知書のみ有効。なお、2級を取得している場合もTOEICやTOEFLの受験を強くお勧めします。

\*TOEFL ITP 試験は、Level.1のスコアのみが有効です。

#### 〔非英語圏への留学〕

該当する語学（ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語）の専任教員からの推薦が必要です。

| 語学担当専任教員 | ドイツ語                       | フランス語                      | スペイン語                      | 中国語                      | 韓国語                       |
|----------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|--------------------------|---------------------------|
|          | 明石真和 / 研究室：708E（第二講義棟 8 階） | 山下尚一 / 研究室：708F（第二講義棟 8 階） | 信岡奈生 / 研究室：709B（第二講義棟 9 階） | 葉紅 / 研究室：708H（第二講義棟 8 階） | 朴昌明 / 研究室：1416（本部管理棟 4 階） |

### IV. 各学部の定める応募資格を満たしていること

各学部では留学への応募条件として、各年次の必要単位数、学業成績などを定めています。

今年度の応募条件はP4-5の通りです。所属する学部・学年の条件を参照してください。

# 2019年度 長期留学応募資格



## 法学部

## 経済経営学部

### 1 原則

#### 全学部共通

- 1) 細則に定める必要最低単位数を修得見込みであること
- 2) 細則に定める必修科目単位を修得見込みであること
- 3) 留学の時点で、本学において1年以上修学していること
- 4) 本学における成績のGPAが2.5以上であること

### 2年次に留学(1年次応募)の場合

- a) 1年次において40単位以上修得見込みであること
- b) 以下の科目を修得見込みであること

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 法学入門Ⅰ           | 2単位 |
| コンピュータ・リテラシーⅠ/Ⅱ | 2単位 |
| キャリア基礎Ⅰ         | 2単位 |
| 必修外国語科目         | 4単位 |
| プレゼミナールⅠ/Ⅱ      | 4単位 |
| コース共通基礎科目       | 6単位 |

- a) 1年次において40単位以上修得見込みであること
- b) 1年次必修科目のうち以下の12単位を修得見込みであること

|            |     |
|------------|-----|
| 必修外国語第1    | 4単位 |
| 必修外国語第2    | 4単位 |
| プレゼミナールⅠ/Ⅱ | 4単位 |

※上記の科目以外に、以下の1年次配当必修科目の単位も修得しておくことが望ましい。

- 経済・経営と社会(2単位) ●基礎数学(2単位) ●経済学の基礎(ミクロ編)(2単位) ●経済学の基礎(マクロ編)(2単位)
- 国際経済の基礎(2単位) ●経営学総論Ⅰ(2単位) ●コンピュータ・リテラシーⅠ(1単位) ●コンピュータ・リテラシーⅡ(1単位) ●キャリア基礎Ⅰ(2単位)

### 2 細則

### 3年次に留学(2年次応募)の場合

- a) 2年次までに80単位以上修得見込みであること
- b) 以下の科目を修得見込みであること

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 法学入門Ⅰ           | 2単位 |
| コンピュータ・リテラシーⅠ/Ⅱ | 2単位 |
| キャリア基礎Ⅰ         | 2単位 |
| 必修外国語科目         | 4単位 |
| プレゼミナールⅠ～Ⅳ      | 8単位 |
| コース共通基礎科目       | 6単位 |

- a) 2年次までに80単位以上修得見込みであること
- b) 以下の必修科目及び専攻基礎科目26単位を修得見込みであること

|                |     |
|----------------|-----|
| 必修第1外国語        | 8単位 |
| 必修第2外国語        | 8単位 |
| 選択必修外国語        | 2単位 |
| プレゼミナールⅠ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ | 8単位 |
| 専攻基礎科目         | 8単位 |

※上記の科目以外に、以下の1、2年次配当必修科目の単位も修得しておくことが望ましい。

- 経済・経営と社会(2単位) ●基礎数学(2単位) ●経済学の基礎(ミクロ編)(2単位) ●経済学の基礎(マクロ編)(2単位)
- 国際経済の基礎(2単位) ●経営学総論Ⅰ(2単位) ●コンピュータ・リテラシーⅠ(1単位) ●コンピュータ・リテラシーⅡ(1単位) ●キャリア基礎Ⅰ(2単位)

### 4年次に留学(3年次応募)の場合

- a) 3年次までに110単位以上修得見込みであること
- b) 以下の科目を修得見込みであること

|           |     |
|-----------|-----|
| 情報関連科目    | 2単位 |
| 必修第1外国語   | 6単位 |
| 必修第2外国語   | 4単位 |
| キャリアデザインⅠ | 2単位 |
| キャリアデザインⅡ | 2単位 |
| キャリア発展Ⅰ   | 2単位 |
| 基礎演習      | 4単位 |
| 展開または選択演習 | 4単位 |
| 発展演習Ⅰ     | 4単位 |
| コース共通基礎科目 | 8単位 |

- a) 3年次までに110単位以上修得見込みであること
- b) 以下の1～3年次必修科目及びコース科目42単位を修得見込みであること

|          |     |
|----------|-----|
| 必修外国語第1  | 6単位 |
| 必修外国語第2  | 6単位 |
| キャリア育成科目 | 6単位 |
| プロゼミナール  | 4単位 |
| 入門演習     | 4単位 |
| 演習Ⅰ      | 4単位 |
| 専攻基礎科目   | 8単位 |
| 専攻発展科目   | 4単位 |

※上記の科目以外に、以下の1、2、3年次配当必修科目の単位も修得しておくことが望ましい。

- 経済・経営と社会(2単位) ●基礎数学(2単位) ●経済学の基礎(ミクロ編)(2単位) ●経済学の基礎(マクロ編)(2単位)
- 国際経済の基礎(2単位) ●経営学総論Ⅰ(2単位) ●コンピュータ・リテラシーⅠ(実習)(1単位) ●コンピュータ・リテラシーⅡ(実習)(1単位) ●キャリア発展Ⅰ(2単位) ●キャリアデザインⅠ(2単位) ●キャリアデザインⅡ(2単位)

## メディア情報学部

## 現代文化学部

## 心理学部

- a) 1年次において36単位以上修得見込みであること  
b) 以下の必修科目28単位を修得見込みであること

|           |     |   |
|-----------|-----|---|
| 基礎教育科目群   | 8単位 | メディアと情報資源、プレゼミナールⅠ/Ⅱ、コンピュータ・リテラシーⅠ/Ⅱ    |
| キャリア教育科目群 | 2単位 | キャリア基礎Ⅰ                                 |
| 教養基礎科目群   | 2単位 | 健康・スポーツ実習Ⅰ/Ⅱ                            |
| 第1外国語     | 4単位 | 英語ⅠA/ⅠB/ⅡA/ⅡB(一般学生)、日本語ⅠA/ⅠB/ⅡA/ⅡB(留学生) |
| 第2外国語     | 4単位 | 選択した第2外国語ⅠA/ⅠB/ⅡA/ⅡB                    |
| 専攻基礎科目    | 8単位 | 学部科目6単位を含む                              |

- a) 1年次において34単位以上修得見込みであること  
b) 以下の必修科目計22単位を修得見込みであること

|              |  |
|--------------|--|
| 基礎教育科目       | 10単位                                     |
| キャリア教育科目     | 2単位                                      |
| 健康・スポーツ実習Ⅰ/Ⅱ | 2単位                                      |
| 必修外国語科目      | 第1外国語ⅠA/B/ⅡA/B 4単位<br>第2外国語ⅠA/B/ⅡA/B 4単位 |

- a) 1年次において34単位以上修得見込みであること  
b) 以下の科目を修得見込みであること

|   |      |
|---|------|
| 人間研究の視点Ⅰ/Ⅱ  | 計4単位 |
| プレゼミナールⅠ/Ⅱ  | 計4単位 |
| コンピュータ・リテラシーⅠ/Ⅱ   | 計2単位 |
| キャリア基礎Ⅰ   | 2単位  |
| 健康・スポーツ実習Ⅰ/Ⅱ  | 計2単位 |
| 外国語の1年次必修単位<br>「英語ⅠA/ⅠB」(計2単位)、「英語ⅡA/ⅡB」(計2単位)<br>または「日本語ⅠA/ⅠB」(計2単位)、「日本語ⅡA/ⅡB」(計2単位) いずれか計4単位 |      |
| 心理学概説Ⅰ/Ⅱ  | 計4単位 |

- a) 2年次までに72単位以上修得見込みであること  
b) 以下の配当科目計52単位を修得見込みであること

|           |      |  |
|-----------|------|--|
| 基礎教育科目群   | 12単位 | メディアと情報資源、プレゼミナールⅠ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ、コンピュータ・リテラシーⅠ/Ⅱ       |
| キャリア教育科目群 | 2単位  | キャリア基礎Ⅰ  |
| 地域科目群     | 6単位  |  |
| 教養基礎科目群   | 12単位 | 健康・スポーツ実習Ⅰ/Ⅱを含む                                |
| 第1外国語     | 4単位  | 英語ⅠA/ⅠB/ⅡA/ⅡB(一般学生)、日本語ⅠA/ⅠB/ⅡA/ⅡB(留学生)        |
| 第2外国語     | 4単位  | 選択した第2外国語ⅠA/ⅠB/ⅡA/ⅡB                           |
| 選択必修外国語   | 2単位  | 英語ⅢA/ⅢB(一般学生)、日本語ⅢA/ⅢB(留学生)、もしくは選択した第2外国語ⅢA/ⅢB |
| 専攻基礎科目    | 8単位  | 学部科目6単位を含む                                     |
| 専攻基幹科目    | 2単位  | メディア情報とキャリア                                    |

- a) 2年次までに72単位以上修得見込みであること  
b) 以下の必修科目計32単位を修得見込みであること

|                |  |
|----------------|--|
| 基礎教育科目         | 14単位                                     |
| キャリア基礎Ⅰ        | 2単位                                      |
| 健康・スポーツ実習Ⅰ/Ⅱ   | 2単位                                      |
| 必修外国語科目        | 第1外国語ⅠA/B・ⅡA/B 4単位<br>第2外国語ⅠA/B・ⅡA/B 4単位 |
| 選択必修外国語ⅢA/B    | 2単位                                      |
| 専攻発展科目(各選択コース) | 4単位                                      |

- a) 2年次までに72単位以上修得見込みであること  
b) 以下の科目を修得見込みであること

|  |      |
|--|------|
| 人間研究の視点Ⅰ/Ⅱ   | 計4単位 |
| プレゼミナールⅠ/Ⅱ   | 計4単位 |
| コンピュータ・リテラシーⅠ/Ⅱ  | 計2単位 |
| キャリア教育科目群で、「キャリア基礎Ⅰ」(2単位)を含む4単位以上  |      |
| 地域科目群で、4単位以上   |      |
| 健康・スポーツ実習Ⅰ/Ⅱ   | 計2単位 |
| 当該外国語の必修単位<br>「英語ⅠA/ⅠB」(計2単位)、「英語ⅡA/ⅡB」(計2単位)、「英語ⅢA/ⅢB」(計2単位) または<br>「日本語ⅠA/ⅠB」(計2単位)、「日本語ⅡA/ⅡB」(計2単位)、「日本語ⅢA/ⅢB」(計2単位) いずれか計6単位 |      |
| 心理学概説Ⅰ/Ⅱ   | 計4単位 |
| 心理学研究法科目で、「心理学研究法」(2単位)を含む4単位以上  |      |

- a) 3年次までに108単位以上修得見込みであること  
b) 以下の配当科目計56単位を修得見込みであること

|                   |      |  |
|-------------------|------|--|
| 基礎教育科目            | 6単位  | オリエンテーションゼミナールⅠ/Ⅱ、メディアと情報資源            |
| 情報基礎科目            | 2単位  | 情報処理実習Ⅰ/Ⅱ                              |
| 教養基礎科目(人間と環境)     | 2単位  | 健康・スポーツ実習                              |
| 第1外国語             | 4単位  | 英語Ⅰ/Ⅱ(一般学生)、日本語Ⅰ/Ⅱ(留学生)                |
| 第2外国語             | 4単位  | 選択した第2外国語Ⅰ/Ⅱ                           |
| キャリア支援科目群         | 6単位  | キャリアデザインⅠ/Ⅱ、キャリア発展Ⅰ                    |
| 専攻基礎科目            | 6単位  | 情報処理概論                                 |
| 専攻基幹科目(メディア情報と社会) | 22単位 | 実習1単位を含む<br>プレゼミナールⅠ/Ⅱ、<br>メディア情報とキャリア |
| 専攻発展科目(コース共通科目)   | 4単位  | ゼミナールⅠ/Ⅱ                               |

- a) 3年次までに102単位以上修得見込みであること  
b) 以下の必修科目計46単位を修得見込みであること

|                |     |
|----------------|-----|
| オリエンテーション科目    | 8単位 |
| 情報教育科目         | 2単位 |
| キャリアデザインⅠ      | 2単位 |
| キャリアデザインⅡ      | 2単位 |
| キャリア発展Ⅰ        | 2単位 |
| 健康・スポーツ実習      | 2単位 |
| プレゼミナール        | 4単位 |
| 専攻発展科目(各選択コース) | 8単位 |
| 演習Ⅰ            | 4単位 |
| 必修外国語科目        | 6単位 |
| 選択必修外国語科目      | 6単位 |

- a) 3年次までに102単位以上修得見込みであること  
b) 以下の科目を修得見込みであること

|  |      |
|--|------|
| 人間研究の方法  | 計4単位 |
| スタディ・スキルズⅠ/Ⅱ/Ⅲ                                   | 計8単位 |
| コンピュータ・スキルズⅠ/Ⅱ                                   | 計2単位 |
| キャリア支援科目群で、「キャリアデザインⅠ/Ⅱ」「キャリア発展Ⅰ」(計6単位)を含む10単位以上 |      |
| 健康・スポーツ実習  | 計2単位 |
| 必修外国語4単位、選択必修外国語6単位                              |      |
| 心理学概説Ⅰ/Ⅱ   | 計4単位 |
| 心理学研究法科目で、「心理学統計法Ⅰ」(2単位)を含む8単位以上                 |      |
| 「演習Ⅱ」を除く専攻科目群の未修得卒業要件単位数が8単位以下であること              |      |
| 演習Ⅰ  | 4単位  |

# 留学へのスケジュール



1  
Step

## 情報を集めよう。留学先を決めよう。

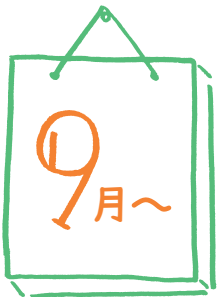
留学先を決めるときは、イメージだけで選ぶのではなく、留学先の国や大学についての情報も知っておいた方がよいでしょう。どんな国？各大学の授業はどんな様子？大学やキャンパス周辺の雰囲気は？寮やホームステイ先の住み心地は？勉強以外にどんなことができるの？などなど。調べる方法について、いくつか紹介します。



2  
Step

## 長期留学の応募資格を充足しよう。

P4-5で紹介した応募資格を充足するように準備しましょう。GPAや修得単位も要件に含まれます。そのこともふまえ、しっかり履修登録をし、授業を受けるようにしましょう。特に英語圏への留学は一定の語学能力が定められています。選考書類提出時までには充足できるよう、計画的に準備しましょう。



3  
Step

## 長期留学選考の日程を確認しよう。

長期留学選考は9月、11月、2019年3月、計3回行う予定です。留学先によって、選考日が異なりますので注意してください。選考日程は、決定次第発表します。



4  
Step

## 長期留学選考を受けよう。

留学先大学によって選考日や必要書類が異なります。指定された期間内に必要書式を受け取り、必要書類を提出しましょう（時間厳守）。いずれの選考も書類審査と面接によって行います。何を学びたいか、なぜ学びたいか、留学の目的は何か、などを話せるようにしっかり準備しておくことがポイントです。



5  
Step

## 留学手続き・渡航準備を進めよう。

選考の結果、交換・派遣留学生に内定したら、さあ、いよいよ留学に向けての手続きや準備が始まります。手続きは、グローバル教育センター委員（教員）がサポートをしますので、安心して準備が進められます。

<注意点> 留学の費用（主に現地滞在費）について、行き先にもよりますが、年間で100万円（アジア圏）～300万円（アメリカ、ヨーロッパ）程度が必要になると考えてください。

6  
Step

## いざ出発！





## 情報の集め方



### A 長期留学説明会〈2018年度は6回開催予定〉

| 日程              | 内容                    |
|-----------------|-----------------------|
| 4/25(水)、5/23(水) | 長期留学制度の全体説明           |
| 6/15(金)         | 留学経験者の話を聞く会           |
| 7/18(水)         | 非英語圏へ留学するための手続きに関すること |
| 9/25(火)         | 英語圏へ留学するための手続きに関すること  |
| 10/16(火)        | 長期留学全体の説明&選考情報        |

時間、場所は各日程共通となります。

●時間 12:40~13:20 ●場所 グローバル教育センター

駿河台大学の留学制度や留学先の紹介、長期留学選考の方法などを詳しく説明します。また、留学に必要な知識や選考に向けてどんな準備をしたらいいかなどのアドバイスも行います。「留学」に少しでも興味がある人は参加してみましょう。開催日が近づいてきたら、ポタロウ、グローバル教育センター掲示板（第二講義棟5階）等でお知らせします。



### B 国際交流パーティー

〈2018年度は3回、4/19(木)、7/12(木)、2019年1/17(木)に開催予定〉

留学先から帰国した駿大生、駿大にきている留学生との交流を目的としたパーティー。サンドイッチなどの軽食を食べながら、留学先の様子や、文化や生活の違いなど、積極的に話を聞いてみましょう。留学に行くことのできない学生にとっても、日本にいながらにして国際交流が体験できます。友達の輪を広げ、自分の価値観も広げるチャンス！



### C 留学リーフレット “New Adventures”

長期留学の選考情報や、留学した学生からの留学報告など、留学に役立つ情報が載っています。グローバル教育センターで配布しています。



### D 掲示板(随時)

選考情報や長期留学説明会・各種イベントの予定等はグローバル教育センター掲示板（第二講義棟5階）、総合掲示板（大学会館北側屋外通路）に掲示、またはポータルサイト（ポタロウ）にてお知らせします。マメにチェックをしてください！

### E オフィスアワー(随時)

外国語担当の教員は、外国語に関するアドバイスだけでなく、留学先大学に関する情報提供やアドバイスもしてくれます。「オフィスアワー」は教員が学生の様々な質問に答えるために設けられた時間です。教員ごとに曜日時間帯が異なりますので、まずはポタロウの [シラバス] > [教員から検索] で、先生方のオフィスアワーをチェックしよう！

### F グローバル教育センター ホームページ〈随時更新〉

留学・国際交流情報が充実！長期留学選考スケジュールの発表や、グローバル教育センターが行っている学内の国際交流イベントの紹介、留学中の学生の留学便りなど、情報満載です。留学を考えている学生は、随時ホームページをチェックして、長期留学説明会や、国際交流イベントに積極的に参加しよう！

### G グローバル教育センター (第二講義棟5階)

長期留学説明会や留学体験報告会、国際交流イベントの開催など、駿河台大学の留学・国際交流の情報発信基地としての役割を担っています。気軽にセンターを訪れて、情報収集してください。グローバル教育センターの教員・職員は、みなさんの留学したいという熱意を後押しします！

### H 留学生

留学生が感じているカルチャーショックは、日本を知るいい機会。それに留学生の母国のことも聞け、視野も知識も友達の輪も広がります。日本にいながら国際交流ができます。パーティー等で積極的に声をかけてみましょう。



# 長期留学提携校紹介



駿河台大学では世界8カ国11大学と**交換・派遣留学**協定を結んでいます。

注：各国情報は日本外務省「各国・地域情勢」サイト、各国の在日大使館公式サイト、各国国立統計局サイト、Googleマップ、地球の歩き方を参照しました。

注：留学プログラム、宿舍内容は変更する可能性があります。

## 英語圏



英国



United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland

### 送出実績人数

| 大学名         | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 計 |
|-------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
| ロンドン大学 SOAS | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0 |

派遣留学



## ロンドン大学 SOAS

School of Oriental and African Studies, University of London

ロンドン

Thornhaugh Street, Russell Square, London WC1H 0XG, UK



オックスフォード、ケンブリッジと並ぶ名門ロンドン大学の一部。アジア・アフリカ研究を専門とする高等教育機関としてヨーロッパ最大の規模を誇る。

|             |   |
|-------------|---|
| 基礎データ       | 創 設：1916年(ロンドン大学は1826年)<br>学 部：16 Departments (アフリカの言語と文化、東アジアの言語と文化、中近東の言語と文化、南アジアの言語と文化、東南アジアの言語と文化、文化人類学・社会学、美術、考古学、開発学、経済学、地理学、歴史学、法学、言語学、音楽、政治学、宗教学など)<br>学生数：約5,000人  |
| 環境          | ロンドンの中心部ラッセル・スクエアに位置する都市型の大学。大英博物館、英国図書館に近く、ロンドン大学の様々な施設が近隣に立ち並び、きわめてアカデミックな環境にある。  |
| 留学プログラム(参考) | English Language and Academic Studies (ELAS)<br>フレキシブルなCertificate/Diploma Programme。<br>9月、1月、4月開講のコース。3ヶ月～1年の期間で学ぶ。クラスはIELTS 4.5～7.0に相当する4つのレベルがあり、英語の勉強とセットで大学の授業の履修もできる。<br>レベルに応じて、英語集中授業やアカデミック・サブジェクト(エッセイの書き方、文献の読み方、ノートの取り方等)、選択講義(Humanities：人文科学、Social Sciences：社会科学、International Business Studies：国際ビジネス研究)を履修。副専攻として、IELTS準備コース、メディア研究等も選べる。 |
| 宿舎(参考)      | 大学の寮は基本的には9月から始まる1年契約であり、日本の春学期から行く場合は空きがある場合のみ利用可能。<br>大学近辺には下宿・アパートが多数存在し、なかには賄い付きもあり。<br>●SOAS Hall of Residenceの場合(食事なし)：£155.22/週(2017年度)<br>●民間の学生用アパートの場合(食事なし)：£150/週(フラットシェア)～£320/週(ワンルームタイプ)(2017年度)   |
| 派遣人数        | 全学部から若干名(3・4年次生)  |
| 派遣期間        | 4月～翌年3月   |

### 送出実績人数

| 大学名      | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 計 |
|----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
| バーミンガム大学 | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 2 |

派遣留学



## バーミンガム大学

University of Birmingham

ウェスト・ミッドランド州バーミンガム  
Edgbaston, Birmingham B15 2TT, UK



英国第二の都市にあり、英国をリードする12大学のうちの1つに数えられる名門大学。Japan Centreを持ち、日本に関する研究も積極的に進めている。

|             |  |
|-------------|--|
| 基礎データ       | 創 設：1900年<br>学 部：5群に分かれた28 Schools<br>Arts and Law / Engineering and Physical Sciences / Life and Environmental Sciences / Medical and Dental Sciences / Social Sciences<br>学生数：約16,700人   |
| 環境          | 緑豊かなキャンパスにレンガ造りの建物が並び、英国らしい伝統の重みを感じることができる。コンピュータ自習室などの設備も充実。バーミンガムの中心から約3マイル(約4.8km)の距離にあり、West GateすぐそばのUniversity Stationから2駅でバーミンガム(Birmingham New Street)に到着。バーミンガムからロンドンまでは列車を用いて1時間40分前後。ロンドンのような国際都市では味わえない、「英国」の都市の生活が経験できる。  |
| 留学プログラム(参考) | Birmingham Study Abroad Programme (with English)<br>日本人のために特に用意されているプログラム。主に3つに分けられる。<br>①Part 1 (4月～6月)：他の非英語圏の学生も含む少人数クラスでの英語(General English)およびコミュニケーション・スキルを学ぶ。<br>②Part 2 (7月～9月)：正規の授業の履修の準備として英語(Pre-sessional English)。ノートテイキングやレポートの書き方も学ぶ。<br>Lectures, Seminars, Cultural visitsも含まれる。<br>③Part 3 (10月～12月)、Part 4 (1月～3月)：正規の授業、英語の授業の履修も可。 |
| 宿舎(参考)      | メイン・キャンパスから徒歩5～8分程度の学生寮(Jarrett Hall等)が提供される。<br>●Jarrett Hallの場合：バスルーム個別 £147/週(2018-2019)  |
| 派遣人数        | 全学部から若干名(3・4年次生)   |
| 派遣期間        | 4月～翌年3月  |





# カンタベリー・ クライスト・ チャーチ大学

Canterbury Christ Church University

ケント州カンタベリー

North Holmes Road, Canterbury, Kent CT1 1QU, UK

## 送出実績人数

| 大学名                 | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 計 |
|---------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
| カンタベリー・クライスト・チャーチ大学 | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | - |



ケント州最大の高等教育機関の一つで、ロンドンから列車で1時間程度の歴史的な街に位置する。学生は語学中心の留学か、語学+学部履修の選択が可能（後者の場合、申請前にIELTSの基準点をクリアしておくことが条件）。

|             |  |
|-------------|--|
| 基礎データ       | 創設：1962年<br>学部：人文科学、教育、健康福祉、社会科学の4学部<br>学生数：約17,400名(留学生は約1,500名)  |
| 環境          | イギリス南東部ケント州に位置するカンタベリーは、世界文化遺産のカンタベリー大聖堂があることで知られ、イギリス国内で最も治安が良い街の一つとして知られている。大学のキャンパスは、歴史的な街の中心に位置し、聖堂にもほど近い。中世の雰囲気を残した街並みが特徴的で、観光客も多く、気候もよい。   |
| 留学プログラム(参考) | ●一般英語コース (General English)<br>●一般英語・IELTS準備コース (General English with IELTS Preparation)<br>午前中の授業は一般英語コースと同じ。午後は、IELTSに特化したwritingやspeaking等のクラスで構成されている。  |
| 宿舎(参考)      | ●宿泊：ホームステイかキャンパス内・キャンパス付近の学生寮<br>[ホームステイ] ※キャンパスまで30分以内の範囲(2017-18)<br>朝食のみ…£112/週 朝食とキッチン使用…£117/週 平日2食…£156/週 平日2食と週末3食…£181/週<br>[学生寮] キッチン共有、食事なし、ネット環境完備(2017-18) 例 バスルーム共有…£145/週 バスルーム個別…£165/週 |
| 派遣人数        | 全学部から若干名(2・3・4年次生)   |
| 派遣期間        | 4月～9月または4月～翌年3月  |

## 英語圏



## アメリカ合衆国

United States of America

## 送出実績人数

| 大学名                  | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 計  |
|----------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| カリフォルニア州立大学 イースト・ベイ校 | -  | -  | -  | -  | 3  | 1  | 2  | 1  | 2  | 4  | 2  | 2  | 2  | 2  | 0  | 21 |



# カリフォルニア州立大学

イースト・ベイ校 California State University, East Bay

カリフォルニア州 Hayward

25800 Carlos Bee Boulevard, Hayward, CA 94542, U.S.A.



風光明媚なサンフランシスコ湾東岸の Hayward 市にあり、きめ細かい指導で高い評価を得ている American Language Program で集中的に英語を学ぶ。

|             |  |
|-------------|--|
| 基礎データ       | 創設：1957年<br>学部：文理学部、経営・経済学部、教育学部、自然学部などの学士号課程、大学院(4課程)<br>学生数：約15,000人   |
| 環境          | サンフランシスコ湾東岸に位置する Hayward 市の高台にあり、広々とした美しいキャンパス。キャンパスはサンフランシスコ国際空港より高速鉄道で約1時間の郊外に位置。学生の課外活動も活発で、75を越すクラブが、スポーツ、芸術、文化活動に取り組んでおり、学内には体育館、スタジアム、美術館、劇場、コンサートホールなどがある。留学中は日本語のできるスタッフがサポートしてくれ、現地学生と個人的に文化交流ができる "Speaking Partners Program" など、充実した補講制度もある。  |
| 留学プログラム(参考) | American Language Program (ALP)<br>「英語で」学んだり体験したりすることを重視したプログラム。学生の自発的な体験学習を促すためのカリキュラムや課外活動が豊富に用意されている。<br>① Intensive English Program (IEP)<br>週に18時間の集中英語コース。いくつかのクラスから構成。授業は1クラス平均15名の少人数制。<br>【基礎科目】午前中は教室で、6つのレベルに分かれている Writing (週6時間)、Listening/Speaking (週4時間)、Reading/Vocabulary (週4時間) をそれぞれ学ぶ。<br>【選択科目】午後は、「US American Culture」、「Film and Music」、「California History」、「A Taste of Hospitality」など、体験を重視した科目を選択できる。また、CSUEBは、月1回のペースで行われる IELTS の公式試験会場にもなっているため、IELTS 試験対策クラスもある。<br>【Bay Area Experience】担当教員から与えられた課題を5～6人のグループで協力し、Bay Area (サンフランシスコを中心とした地域) の様々な場所で体験学習する。<br>② Open University (OU)<br>通常、正規の学生が履修する一般科目が履修できるようになる。IEPの履修において、アドバイザーの推薦許可が得られると OU プログラムへ進むことができる。1年の留学期間では、早くて3学期ないし4学期で可能となる。 |
| 宿舎(参考)      | キャンパス内の学生寮<br>●3ヶ月(食費込み)：US \$3,821/学期(2016年度春学期)  |
| 派遣人数        | 全学部から若干名(2・3・4年次生)   |
| 派遣期間        | 4月～9月または4月～翌年3月  |

英語圏



アメリカ合衆国

United States of America

送出実績人数

| 大学名               | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 計 |
|-------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
| カリフォルニア大学 サンディエゴ校 | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | 4  | 4 |

派遣留学



カリフォルニア大学

サンディエゴ校 California University, San Diego

カリフォルニア州ラ・ホヤ  
9500 Gilman Drive La Jolla, California 92093-0176



年間 300 日も晴れていると言われるほど天候に恵まれたサンディエゴに位置し、世界でもトップ 50 に入る名門校。広大なキャンパスにはユニークな建物が並び、近接した海岸ではサーフィンを満喫できる。世界中から集まった 2000 人以上の留学生と共に、落ち着いたキャンパスライフを送ることができる。

|             |  |
|-------------|--|
| 基礎データ       | 創 設：1960年<br>学 部：医学部が世界的にも有名。その他、社会科学、情報技術、人文学など200以上の専攻からなる。<br>学生数：33,000人   |
| 環境          | カリフォルニア州サンディエゴ市に隣接するラ・ホヤ地区に位置している。キャンパスは広く、太平洋に臨むキャンパスは2,141エーカー(8.6平方キロメートル)におよぶ。<br>UCSDは、タイムズ・ハイヤー・エデュケーション誌の世界大学ランキングで31位。研究大学として高い評価を得ている。  |
| 留学プログラム(参考) | 英語の流暢さや日常英語を話したり理解する能力を改善したり、アメリカ文化に関する知識を深めたいという学生は、10週間英語プログラム「コミュニケーションと文化プログラム (Communication and Culture Program)」が最適。すべてのレベルの学生が受講できる。最初の週に英語のレベルが決められる。<br>●月曜日から金曜日、8：30～16：30<br>●10週間 週に20時間の集中英語コース(最初の週はクラス編成テスト、オリエンテーション、履修登録)<br>●すべてのレベルに対応(全11レベル、1クラス6-18名程度)<br>●中核クラスでは流暢に話し理解できるようになることをめざす。<br>●日常英語/アメリカ社会と文化のコース<br>●幅広い選択科目。“Listening through Music” “American Music” “American Film” “TOEFL/TOEIC Preparation” “Idiom and Slang” “Everyday English” “American Culture” “American Short Story” などアメリカ文化や英語学習を意識した13の選択コース<br>●2018年度日程：春(3/5～5/4)、夏1(5/21～7/20)、夏2(7/23～9/21)、秋(10/8～12/7) |
| 宿舎(参考)      | 本学もしくは本学OBが斡旋するホームステイ先に宿泊する。<br>US \$13,800.00～US \$20,649.00/年(2016年度調べ)  |
| 派遣人数        | 全学部から若干名(2・3・4年次生)   |
| 派遣期間        | 4月～9月または4月～翌年3月  |

英語圏



オーストラリア連邦

Australia



送出実績人数

| 大学名    | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 計  |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| モナシュ大学 | 9  | 9  | 15 | 5  | 3  | 5  | 2  | 1  | 2  | 3  | 5  | 4  | 0  | 1  | 0  | 64 |

派遣留学



モナシュ大学

Monash University

ヴィクトリア州メルボルン  
900 Dandenong Road, Caulfield East, Victoria 3145, Australia  
Monash English Campus: 500 Collins St, Melbourne Victoria, 3000, Australia



世界で最も大規模な大学の一つで、世界的な教育水準と研究の実績を積み名門校。留学中は一般英語コースに参加。ホームステイでの生活が大きな特徴で、その運用・サポート体制は非常に充実。

|             |  |
|-------------|--|
| 基礎データ       | 創 設：1958年<br>学 部：Art, Design and Architecture / Arts / Business and Economics / Education / Engineering / Information Technology / Law / Medicine, Nursing and Health Sciences / Pharmacy and Pharmaceutical Sciences / Scienceの10学部<br>Victoria College of Pharmacy<br>学生数：約65,000人   |
| 環境          | シティキャンパスで授業を受け、図書館などはメルボルンの中心から約9キロ離れたコーフィールドキャンパスを利用。日本人を含む専属のスタッフが全面的にサポートしてくれる。   |
| 留学プログラム(参考) | Monash English<br>5週間を1ユニットとするプログラムを4回20週受講。授業時間は一日4時間、週20時間(月～金、8:30～17:15)。内訳は、12時間が一般英語(General English=Core Module)、8時間が選択科目(Specialist Skills Module)。このほかに週5時間の自習時間が強く推奨されている。各ユニットの前には英語力試験があり、試験結果に応じて授業レベルが決定。レベルはElementary / Pre-Intermediate / Intermediate / Upper Intermediate / Pre Advanced / Advancedとなる。また、レベルにより、選択科目が異なる。1クラスの学生数は、10人から18人程度。 |
| 宿舎(参考)      | ホームステイ<br>3食込み：AU \$9,086 / 半年(2017年度調べ)   |
| 派遣人数        | 全学部から最大15名(2・3・4年次生)   |
| 派遣期間        | 3月～8月または9月～翌年2月  |

非英語圏



ドイツ連邦共和国

Federal Republic of Germany

送出実績人数

| 大学名     | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 計  |
|---------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| ミュンヘン大学 | 3  | 2  | 3  | 4  | 1  | 1  | 3  | 1  | 1  | 1  | 0  | 3  | 1  | 2  | 1  | 27 |

派遣留学



ミュンヘン大学

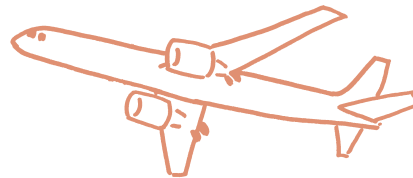
Ludwig-Maximilians-Universität München

バイエルン州ミュンヘン  
Geschwister-Scholl Platz 1, 80539 München, Deutschland

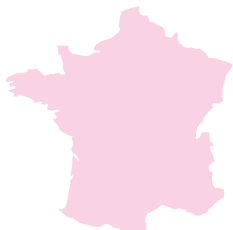


ドイツ屈指の名門大学で、ノーベル賞受賞者も多数輩出している。歴史の重みを感じさせる重厚なキャンパス。

|             |   |
|-------------|---|
| 基礎データ       | 創設：1472年<br>学部：20学部(法、経済、経営、芸術、文学など)<br>学生数：約55,000人(留学生約5,400人)  |
| 環境          | キャンパスは、バイエルン州の州都ミュンヘン市の中心から徒歩15分。歴史の重みを感じさせる重厚なキャンパスが位置している。都会でありながら治安もよく、文化的な施設や催しも多彩。国際部のスタッフや教員が単独あるいはグループで各学生のアカデミック・アドバイザーとなり、サポートしてくれる。 |
| 留学プログラム(参考) | 大学の講義等を受講できる。また、大学附属の「外国人のためのドイツ語コース」を受講できる。  |
| 宿舎(参考)      | 学生寮<br>●寮費：約€300もしくは€400/月(寮による。保証金含む)(2016年度調べ)<br>●保険：€78/月(2010年度調べ)<br>その他、必要経費として約€120/学期が必要。(学期=夏・冬の2学期制)(2016年度調べ)                     |
| 派遣人数        | 全学部から若干名(2・3・4年次)   |
| 派遣期間        | 4月～9月または4月～翌年3月   |



非英語圏



フランス共和国

French Republic

送出実績人数

| 大学名          | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 計  |
|--------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| アンジェ・カトリック大学 | 1  | 2  | 2  | 1  | 3  | 1  | 2  | 0  | 1  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 1  | 15 |

派遣留学



アンジェ・カトリック大学

Université Catholique de l'Ouest

アンジェ  
3 Place André-Leroy B.P.10808 49008 ANGERS CEDEX 01 FRANCE



10以上の学科を有する私立のカトリック大学。本学からの留学生は、長年にわたりフランス語教育に定評のある、附属語学校 CIDEF(外国人留学生のためのフランス語コース)に在籍する。

|             |  |
|-------------|--|
| 基礎データ       | 創設：1875年<br>学部：神学・歴史学・文学・語学・心理学・数学・エコロジー等、10以上の学科をもつ。<br>学生数：約11,000人  |
| 環境          | キャンパスは、ロワール川支流のメーヌ川に沿った古い歴史を持つ、フランスの落ち着いた典型的な地方都市アンジェ市にある。世界150以上の国から留学生を受け入れている。1947年設立のアンジェ・カトリック大学附属語学校(CIDEF)は、フランス語教育に定評があり、現在、世界中より1200名以上の学生が集まっている。学内や女子学生寮にあるパソコンが自由に使用でき、大学と学生寮のスタッフが連絡をとりあって、学生をサポートする体制が整っている。 |
| 留学プログラム(参考) | 9月：1ヶ月間、夏期コース(フランス語集中講座)を受講。<br>10月以降：外国人留学生のためのフランス語コースを受講。フランス語の実力に応じて6段階に分かれる。中級より上のクラスになると、文明講座も受講可能となり、語学だけでなくフランス文化や歴史も学べる。  |
| 宿舎(参考)      | ●ホームステイ(食費含まず)：平均€280/月(2017年調べ)<br>●学生寮(月～金の朝夕付。土・日は自炊可、Wifi完備)：€590/月(2017年調べ)   |
| 派遣人数        | 全学部から若干名(2・3・4年次)  |
| 派遣期間        | 9月～翌年2月または9月～翌年6月  |



非英語圏



スペイン王国

Kingdom of Spain



送出実績人数

| 大学名     | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 計 |
|---------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
| サラマンカ大学 | -  | -  | -  | -  | -  | -  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 2 |

派遣留学



サラマンカ大学

Universidad de Salamanca

サラマンカ Patio de las Escuelas, 1, 37008 Salamanca, Spain



スペイン最古の名門大学。本学からの留学生が学ぶインターナショナルコースは、スペイン語教育機関として世界的に有名。

|             |   |
|-------------|---|
| 基礎データ       | 創設：1218年<br>学部：スペインの名門国立大学。法学部、経済学部、芸術学部、言語学部、教育学部、心理学部、医学部、生物学部等、10以上の学部をもつ。<br>学生数：約30,000人                         |
| 環境          | キャンパスのあるサラマンカ市は、首都のマドリッドから車で2時間半ほどのところにある静かで落ち着いた大学都市で、美しい石造りの建物が多い旧市街は世界文化遺産に指定されている。インターナショナルコースのスタッフや教員がサポートしてくれる。 |
| 留学プログラム(参考) | インターナショナルコースの「スペイン語・文化研修コース」で学ぶ。スペイン語の実力に応じたクラスに配置される。  |
| 宿舎(参考)      | 学生寮 ●1人部屋(3食付)：€32.5/日(2017年度調べ)  |
| 派遣人数        | 全学部から若干名(2・3・4年次生)  |
| 派遣期間        | 4月～9月、4月～翌年2月または9月～翌年2月   |

非英語圏



中華人民共和国

People's Republic of China



送出実績人数

| 大学名  | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 計  |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 聊城大学 | 3  | 2  | 0  | 2  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 4  | 0  | 0  | 1  | 1  | 3  | 17 |

交換留学



聊城大学

Liaocheng University

山東省聊城市 中華人民共和国山東省聊城市湖南路1号



中国は世界を牽引する国の一つ。山東省聊城市に位置する聊城大学は広大なキャンパスを有する総合大学である。キャンパス内に宿舎を含む諸施設が揃っており、勉学や生活にやさしい。

|             |   |
|-------------|---|
| 基礎データ       | 創設：1974年<br>学部：25学部88学科(経済、管理、法律、文化、理科、工学、農学ほか)<br>学生数：約33,000人   |
| 環境          | 聊城市は2000年以上の歴史を持つ文化都市で治安もよい。近年、大都市には薄れつつある中国らしさを肌で感じられる環境。大学には中国語教育センターが設置されており、教員が留学生のアカデミック・アドバイザーとしてサポートしてくれる。芸術系の音楽や絵画、書道、さらに体育系の授業も受講可能で、豊かな留学生活を送ることができる。 |
| 留学プログラム(参考) | 外国人のための中国語研修コース。正規の授業を受講できる。  |
| 宿舎(参考)      | 西キャンパスにある留学生専用の宿舎。2013年落成。 ●バス・トイレ、エアコン。Wi-Fi(別払い)。各フロアにTV室あり。共同キッチン、コイン・ランドリー ●二人部屋を一人で使用する場合：4725元/半年(2017年度調べ)   |
| 派遣人数        | 全学部から若干名(2・3・4年次生)  |
| 派遣期間        | 2月～7月または2月～翌年1月、9月～翌年2月または9月～翌年7月   |

非英語圏



大韓民国

Republic of Korea



送出実績人数

| 大学名  | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 計  |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 延世大学 | -  | 2  | 0  | 1  | 3  | 1  | 1  | 0  | 1  | 2  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 12 |

交換留学



延世大学

Yonsei University

ソウル 134 Shinchon-dong, Seodaemun-gu, Seoul 120-749, Korea

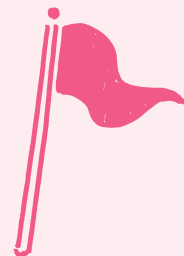


プロテスタントの宣教師により設立。韓国最古の伝統を誇る私立の一流総合大学であり、「ない学部がない」と言っても過言ではないほどの数多くの学部・学科が存在する。

|             |  |
|-------------|--|
| 基礎データ       | 創設：1885年<br>学部：文学、経済学、経営学、理学、工学、生命システム学、神学、社会科学、法学、音楽学、生活科学、教育学、国際学、医学、歯学、看護学、薬学などの学部があり、さらに細かく学科が存在する。<br>学生数：約18,300人。(本校の学部生数、2017年10月1日時点)   |
| 環境          | みどりに囲まれた静かで広い快適なキャンパスは、首都ソウル特別市の中心部から西北に約15分の場所の新村(シンチョン)にある。新村周辺は大学も多く、大変にぎやかな学生街。たまに映画やドラマの撮影が行われている。留学生サポートシステムが整っており、希望者は、現地の学生との「言語交換(1対1で韓国語と日本語を教えあうこと)」プログラムに参加できる。また学生のくつろぎの場「Global Lounge」があり、マルチチャンネルのテレビ、インターネット、各国の資料が整備されている。 |
| 留学プログラム(参考) | 交換留学生向けの英語による授業と韓国語学が提供する交換留学生対象の韓国語学習プログラムが開設されている。1学期に履修登録しなければならない単位数は9～18単位である。先の履修登録可能科目には韓国語学部の交換留学生対象韓国語学習プログラム(6単位)が含まれている。韓国語学習プログラムでは、学生の韓国語学力レベル別に授業が行われる。  |
| 宿舎(参考)      | キャンパス内のSKグローバルハウスやインターナショナル・ハウスなどの留学生向け学生寮などがある。エアコン、バス・トイレ、テレビ室、コンピュータ室、食堂、洗濯室、売店などあり※希望者は、下宿やホームステイによる生活も可能。   |
| 派遣人数        | 全学部から若干名(2・3・4年次生)   |
| 派遣期間        | 3月～7月または3月～12月、9月～12月または9月～翌年7月  |

# 海外・語学研修授業紹介

現代文化学部のみ



現代文化学部では、海外研修や語学研修の授業を実施しています。  
今年度実施予定の研修関係授業の紹介をします。

## 海外スポーツ文化研修 南半球でコミュニティスポーツを学ぶ

- 研修先 ウェリントン(ニュージーランド) ●研修期間 2月中旬から約2週間 ●研修費 40万円程度(別途大学から5万円の補助金あり)
- 対象学生 現代文化学部2・3年生 ●募集人数 10名前後(例年5-8名の参加がある)
- 研修内容・目的

真冬の日本を飛び出し、南半球に位置する真夏のニュージーランドでコミュニティスポーツについて、その実践と理論を学びます。研修先はNew Zealand Institute of Sport (NZIS) という、とても有名なスポーツ高等専門学校になります。また、この研修期間中には語学学校にも籍をおき、語学(英語)のブラッシュアップにもチャレンジします。そして、嬉しいことに上記の2校からは「修業証書」を研修最終日にはもらうことができます。

滞在する場所は、首都のウェリントンです。そして、約2週間の滞在期間中はスポーツに理解のある現地の家庭にホームステイをします。



## 「添乗研修」(海外) 海外旅行の添乗業務に必要な基礎知識と実務英語を学ぶ

- 研修先 イギリス(主にロンドン) ●研修期間 春学期(準備作業)および9月上旬(実地研修)
- 研修費 約30万円 ●対象学生 観光業に関心のある学生、観光英語を学びたい学生、イギリスなど外国の文化に関心のある学生など
- 募集人数 5~10名
- 研修内容・目的

海外添乗研修は、海外旅行のツアーに添乗員として参加するにあたり、必要となる基礎知識と実務観光英語を学びます。

春学期は、添乗員という職業の理解、添乗サービスの基本、添乗員の仕事の役割と仕組みなど、添乗業務の基

本を学びます。その後、海外添乗業務で必須となっている、基本的な「添乗員英語」を専門用語を中心に学んでいきます。9月(予定)には、実際に一週間ほどイギリス・ロンドンに添乗研修に行きます。研修の後には、各自のフィールド体験をもとに課題レポートを提出してもらいます。

将来、添乗員になりたい人はもちろん、観光・旅行業界で働きたい人、添乗業務に興味のある人、様々な人と交流をすることが好きな人にも、研修という体験を通して、添乗業務の実態について理解を深めてもらいたいと思います。

本研修の到達目標ですが、海外添乗業務とはどのような仕事を理解した上で、それを実践し、旅程を管理するとはどういうことなのかを体得することを目指します。具体的には、ツアーを契約通りに進行管理し安全に終了

させることが出来るように、正確な現地情報を入手する情報収集能力や、不測の事態に対処する問題解決能力を養うことが目標となります。

その他授業では、ヨーロッパおよびイギリスの政治や社会、文化について各自研究を試みてもらいます。最も力を入れたいのが、実務観光英語の基礎の習得です。空港やホテル、レストランで使われる英語から、有名観光地の英語での解説、そして英語のホスピタリティ表現の極意について、実際の現場を観察しながら学びます。



大英博物館



ウェストミンスター宮殿(国会議事堂)

## 国内英語研修 実用的な英語力を身に付けながら、日本国内の「中世英国」という異文化をより深く理解する

- 研修先 ブリティッシュヒルズ/福島県岩瀬郡天栄村大字田良尾字芝草1-8 ●研修期間 8月中旬から8月下旬頃、2泊3日
- 研修費 70,000円程度(予定) ●対象学生 2年次生以上 ●募集人数 2名以上
- 研修内容・目的

国内英語研修は、現代文化学部国際文化コミュニケーションコースが開設する新しい科目であり、2018年度に開講する予定です。学生のみなさんは、「ブリティッシュヒルズ」という国内の魅力あふれる英語集中プログラムに参加します。

ブリティッシュヒルズに一歩足を踏み入れてまず気づ

くのは、そこにいる人びとがみな(授業中でもないのに!)英語で会話をしていること。ここでは英語を公用語とし、中世の英国の街並みが再現されているため、自然と英語を話す環境が整えられているのです。

授業もたいへんユニークです。初級クラスを紹介すると、たとえば、「おしゃべり」(Small Talk)という授業では、ゲームやアクティビティを通して自己紹介のしかたや基本的な会話の始め方、適した話題について学びます。また、物事や人物を表現する授業(Basic Describing Things/ Basic Describing People)では、やはりアクティビティを通じて、モノ・コト・ヒトを表現するための形容詞を学び、描写力の向上に役立つレッスンになっています。そのほかにも、「自分について語ろう」(Talk about Yourself)ではさまざまな側面から自分のことを伝える練習をし、「トラベル英語」(Travel English)では、海外旅行をするときに、空港やレストラン等で役立つ会話をロールプレイで練習します。そして、教えていただく先生たちはみな英語圏出身。とても



マナーハウス ブリティッシュヒルズでは、授業が行われるこのマナーハウス(荘園領主の館)を中心に、ティールームやバブ、宿泊施設が点在しています。

熱意のある魅力的な先生たちばかりです。

ブリティッシュヒルズの研修に参加することによって、英語力やコミュニケーション力を伸ばし、さらに、異文化への理解を体感的に深めることができます。まさにパスポートなしの留学体験です。海外留学に少しためらいがある人は、まずは国内の語学留学を体験してみたいかがでしょうか?



大食堂 ハリーポッターの映画の一場面を思わせる、広々とした食堂です。

# 短期留学(海外語学演習)

## 特徴



夏休みの3~5週間を利用して、提携機関の充実したプログラムへ参加可能!

駿河台大学で開講している全語学(英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語)に、提携する海外の指定機関があります! 語学プログラムのほか、観光ツアーや文化体験イベントなども充実しています。

プログラムの詳細は、『短期留学提携校』一覧表およびガイダンスで確認してください。

※『海外語学演習』情報の入手先

- 留学リーフレット『New Adventures』
- ガイダンス  
(ガイダンス配付資料は、グローバル教育センターでも閲覧できます)
- シラバス(『海外語学演習』の各言語欄を参照のこと)
- 過去の先輩たちの「短期語学研修参加者アンケート」  
(グローバル教育センターで閲覧可)



履修登録と必要な手続きをすることにより、原則誰でも参加が可能!

履修登録をしていない学生は、参加することができません。履修登録をすれば、翌年度以降も何度でも参加することができます。

春学期中に行われる事前指導とセットで、帰国後は4単位が付与されます。



担当教員と、1学期間かけて綿密に準備!

担当教員が、春学期の1学期間をかけて、留学手続きや語学、現地での生活などの事前指導を行いますので、安心して出発することができます!



5万円の奨励金を支給!

留学にかかる費用は全額自己負担となりますが、5万円の奨励金を大学から給付しています。参加費用の目安は『短期留学提携校』の一覧表で確認してください。

短期留学は、「海外語学演習」として、各学部のカリキュラムに配置されている4単位の授業科目です。

## 参加までの流れ



必修の外国語科目をきちんと受講!

履修していない外国語圏に参加したい場合は、こうしよう!

基礎力をつける

「〇〇語と文化」(教養基礎科目)を履修。

「〇〇語演習」(自由選択外国語)を履修。

語学力をブラッシュアップ



いざ、「海外語学演習」へ



『海外語学演習ガイダンス』に参加

『海外語学演習ガイダンス』は、3月末~4月初のガイダンス期間中に実施します。詳しい日程は、「履修の手引き」をチェック!



『海外語学演習』を履修登録

履修登録期間に必ず履修登録を!(履修登録をしない場合、参加できません。)履修登録の方法が分からない場合は教務課またはグローバル教育センターへ。



『第1回事前指導』に参加

春学期授業開始週(4月11日~18日)に行います。2回目以降の事前指導スケジュールを決定しますので、必ず参加してください。日程・場所は、ポタロウまたは各学部の掲示板で確認してください。



2回目以降の事前指導に参加

短期留学プログラムへの留学手続きや語学指導、現地生活のアドバイスなどを行います。決められたスケジュールどおりに準備をしていきましょう!

『海外語学演習』の事前指導内容はコレだ!

| 春学期授業計画 |                         |      |                          |
|---------|-------------------------|------|--------------------------|
| 第1回     | 海外語学演習プログラムの概要          | 第9回  | 日常生活のマナーと表現(1)           |
| 第2回     | 現地の社会と文化(1)             | 第10回 | 日常生活のマナーと表現(2)           |
| 第3回     | 現地の社会と文化(2)             | 第11回 | 手続き等の説明と指導(3)<br>(航空券手配) |
| 第4回     | 外国語でのあいさつと自己紹介          | 第12回 | 現地の地理・交通                 |
| 第5回     | 手続き等の説明と指導(1)<br>(入学申込) | 第13回 | 大学と参加プログラムについて           |
| 第6回     | 旅行会話(1)                 | 第14回 | 手続き等の説明と指導(4)<br>(保険手続き) |
| 第7回     | 旅行会話(2)                 | 第15回 | まとめ                      |
| 第8回     | 手続き等の説明と指導(2)<br>(ビザ申請) |      |                          |

※表は一例です。参加する海外語学演習により事前指導の内容は異なります。



出発



帰国

担当教員へプログラム終了と参加した様子の報告をしてください。アンケートへの協力もお願いします!

※帰国後のオプション

- 「〇〇語演習」(自由選択外国語)で、さらに語学力に磨きをかけることもできます。
- もちろん、長期留学にチャレンジすることもOK!可能性を広げよう!



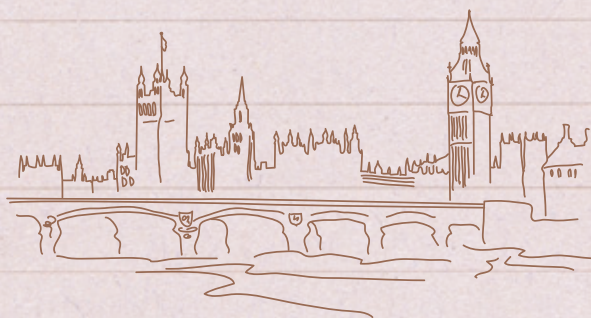
## 短期留学提携校

|       |  |
|-------|--|
| 英語    |  <p><b>カンタベリー・クライスト・チャーチ大学 / ケント州カンタベリー (英国)</b><br/>           コース名: 一般英語サマースクール 研修期間: 8月(3週間) 研修費用: 450,000円程度 (授業料・寮費・渡航費を含む)<br/>           世界遺産のカンタベリー大聖堂からほど近い歴史的な街の中心に位置し、初学者から英語を学べる数少ない英国の大学です。</p>  |
|       |  <p><b>カリフォルニア大学サンディエゴ校 / カリフォルニア州ラ・ホヤ (米国)</b><br/>           コース名: 4-week ESL Program 研修期間: 7月下旬より(4週間) 研修費用: 600,000~700,000円程度 (授業料・渡航費・現地滞在費を含む)<br/>           太平洋を臨む広大なキャンパスで、自然な英語での会話やアメリカ文化を学ぶ。<br/>           文法や語彙力の向上を図る授業に加えて、学生たちは他の留学生や現地学生、コミュニティの人々で構成されるUCSD英会話リーダーと交流する機会もある。研修期間中は大学内の寮かホームステイを利用。治安も良好。</p> |
|       |  <p><b>モナシュ大学 / ヴィクトリア州メルボルン (オーストラリア)</b><br/>           コース名: 短期英語研修 研修期間: 7月下旬より(5週間) 研修費用: 550,000円程度 (授業料・寮費・渡航費を含む)<br/>           英語によるコミュニケーション能力の養成、オーストラリアの生活と文化の理解、学生や市民との交流を深める。<br/>           滞在中はホームステイ。</p>   |
| ドイツ語  |  <p><b>フィリピン中央大学 / ビサヤ諸島パナイ島・イロイロ市 (フィリピン)</b><br/>           コース名: 一般英語コース (General ESLコース) 研修期間: 8月(3週間)<br/>           研修費用: 250,000円程度 (学費、宿泊費、1日3食込み)<br/>           費用が安く、TOEICなどの条件脚で参加できるプログラム。マンツーマンレッスンを中心に基礎的・実用的な英語力の向上を目指す。日本に近いフィリピンで英語を勉強しながらフィリピンの生活と文化の理解を深める。研修期間中は英語研修センターの寮に宿泊。</p>                           |
|       |  <p><b>ウィーン大学 / ウィーン (オーストリア)</b><br/>           コース名: 国際ドイツ語コース 研修期間: 8月(4週間) もしくは9月(3週間) 研修費用: 300,000円程度<br/>           外国人のためのドイツ語コース。レベルは1から6まで用意されており、初心者も参加可能。学生寮に宿泊。<br/>           月～金の午前中に授業。<br/>           午後には、ウィーン大学主催のドナウの船旅等の企画や、ウィーン大学講師の講義に参加することもできる。</p>   |
| フランス語 |  <p><b>パリ第4大学ソルボンヌ / パリ (フランス)</b><br/>           コース名: フランス語・フランス文明講座 (夏期講座) 研修期間: 8月(4週間) 研修費用: 550,000円程度<br/>           外国人対象のフランス語講座として世界的に有名。語学力によってクラス分けがされるので、無理なく受講できる。<br/>           主に実用フランス語研修と発音矯正。希望者はフランス文化・文明についての講演も受講が可能。</p>  |
|       |  <p><b>アンジェ・カトリック大学 / アンジェ (フランス)</b><br/>           コース名: 夏期講座 8月コース 研修期間: 8月(4週間) 研修費用: 580,000円程度<br/>           最初に語学力に合わせてクラス分けされる。入門クラスから6段階のレベルに分かれる。<br/>           各クラス10~20名程度、文法、会話、語彙、発音をバランスよく学べるようプログラムされている。<br/>           週末には、スポーツ活動、映画鑑賞、文化的催し、日帰りバス旅行なども楽しめる。</p>   |
| スペイン語 |  <p><b>サラマンカ大学 / カスティーリャ・レオン州サラマンカ (スペイン)</b><br/>           コース名: スペイン語・スペイン文化研修コース 研修時期: 8月(4週間) 研修費用: 500,000円程度<br/>           スペイン有数の国立大学。外国人のためのスペイン語教育で高い評価を得ている。<br/>           授業レベルは細かく分かれ、初心者でも参加可能。1クラス15名以下。宿泊は設備の整った大学寮(個室、3食付)。<br/>           週末に実施される大学主催の小旅行に参加して、スペイン各地やポルトガルを訪れることもできる。</p>                 |
| 中国語   |  <p><b>北京師範大学 / 北京 (中国)</b><br/>           コース名: 夏季短期コース 研修時期: 7月下旬より3週間と4週間の2コースあり<br/>           研修費用: 25万~28万程度、留学生宿舎の宿泊。<br/>           5名~15名の少人数クラス、初心者でも無理なく学べる。<br/>           課外活動として、京劇や雑技の鑑賞と万里の長城、天壇公園など訪れる。</p>  |
|       |  <p><b>国立台湾師範大学 / 台北 (台湾)</b><br/>           コース名: 短期語学研修 研修期間: 8月上旬より3週間 研修費用: 270,000円程度、1人部屋希望の場合変動あり<br/>           レベルに応じた10名以下の少人数クラス。語学授業以外に文化関連授業や行事も充実している。</p>  |
| 韓国語   |  <p><b>延世大学 / ソウル (韓国)</b><br/>           コース名: 3週間短期課程 研修期間: 8月(3週間) 研修費用: 300,000円程度<br/>           初級から上級までの8段階のクラス編成で基礎的な日常会話や韓国社会について、じっくりときめ細かい指導をしてくれる。<br/>           初心者でも安心して参加できる。</p>   |

※表中の費用は、過去の実績に基づく目安として参照してください。実際には、現地校の授業料や寮費の改定、通貨レートや航空券の価格変動等によって、変わります。

# STUDENTS REPORT

留学体験



留学して経験したこと、得たもの…  
2017年度交換・派遣留学生の留学体験記の



## 留生活の思い出

アメリカについてから恥ずかしながら、帰りたいと思ってしまったspring quarterが終わり、ずっといたいと思いついたsummer quarterがはじまりあつという間



カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校

派遣留学生

留学期間：2017年4月～2018年3月

現代文化学部 4年

小澤 悠理

駿台甲府高校出身

に留学も終わりが近づいてきました。日本でもアメリカでも極度の人見知り、緊張、それに加えて語学力の無さがあだとなり、スタートがうまく切れなかった私は、そんなに友達もできず、色々な機会も逃してしまいました。初めは寮に住んでおり、韓国人のルームメイトもいましたが、かなりハードな時間を与えてしまったと思います。ですが、最後には少しでも話せるようになり、恋愛のいわゆる、女子トークもできました。まさかアメリカにまできて恋愛の話をするとは思わなかったの、いい思い出です。summer quarterからはシェアハウスに住みはじめ、会話が苦手な私には、不利な状況でしたが、自分の空間があるということからだいぶ落ち着けるようになりました。ハウスメイトが8人もいる中、全然会わない人もいたところから面白かったです。

ALP(American Language Program)の先生、友達はずごくいい人たちばかりで、さらに、ほとんどの人たちが1年一緒に過ごしたので、離れるのがすごく寂しいです。何よりの思い出は最高の仲間と出会ったことです。つきあいが悪い私に、少数ですがずっと声をかけてくれて、すごく仲良くなり、一緒に外出もする

ようになったことです。お互いに母国へ帰り、お互いの国へ旅行行くのが楽しみです。また、最後の最後には、日本へ留学していて、しかも私の地元の学校へ通っているネイティブの人と友達になれたので、お互いに教えあいながら英語をもっと上達させていきたいと思えます。

ALPの先生方にはすごく感謝しています。私がここまで成長できたのは彼らのおかげです。まだまだ話せませんがリスニング、一般の会話が出来るようになりました。かなり負担をかけてしまった家族に何より感謝しています。本当に最高の家族を持ちました。ありがとう。そしてプログラムを組んでくださり、手続きもほぼ手伝っていただいた駿河台大学グローバル教育センターの皆さんありがとうございました。

I really appreciate everything you did for me. If you have an opportunity to study abroad, you should take it. Do not miss out on a great chance. It will be certainly worthwhile investing your time. Many of your dreams will come true. I hope you also get to experience the greatest excitement of studying abroad I've enjoyed.

## 目的を素早く見据え動く!!

私は、カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校で勉強させていただいています。この留学は私の人生を大きく変えました。

アメリカで非常に多くの人と出会いました。アメリカは日本と比べると学歴とコネで社会が成り立っています。アメリカでは自分のやりたいことを趣味であれ何であれ打ち込む人が受け入れられやすいです。そういった人たちとフラタニティと呼ばれる社交的コミュニティに打ち込む人、成績を何より重視する人、仕事に打ち込む人など何かしら熱意を持っている人たちと多く出会いました。

そんな中で、私は仕事ができるわけもなく、英語が得意なわけでもなく、劣等感を強く感じ、生き抜くことは非常に大変でした。何度も、そして今でも価値がない人間だと感じました。そこで、必死に勉強してアメリカ人に何か一つでも勝てる物を身につけなければならませんでした。私は、特に数学と統計学に打ち込みました。また、コンピュータ言語のオンラインコースを受講したりもしました。そうしたりしながら、英語が苦手なりに議論に参加している内に勉強に誘わ

れるようになったり、多くのプログラマーの方たちとも出会いました。コンピュータ言語のオンラインコースを受講したりとITの本場であるカリフォルニアならではの生活ができたと思います。

今回の留学で気が付いたことは早く気付く大切さです。特に、目的を素早く見据えなければ動くことができないし、時間はとても早く過ぎ去っていきます。私なりに留学前に勉強したつもりでした。しかし、実際には目的に則した勉強ができていませんでした。それが一番の後悔です。留学前にどれだけ勉強できるかで留学の意味も大きく変わってきます。

特に、目的というのは人それぞれ違います。英語に関しても、どのような英語を学びたいのか、また、どの側面をどのレベルで学びたいのかしっかりと意識を持つことが大事だと今は考えています。

仕事選びに関しても、自分のやりたい仕事を選ぶ人、給料、労働環境、福利厚生、家庭を大事にしたいなどどこに重点を置くのかをしっかりと自分に当てはめていく必要があると感じました。現在はインターネットで他人の意見を簡単に見聞きできます。しかし、それ



右が三石さん

カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校

派遣留学生

留学期間：2017年4月～2018年3月

心理学部

みつし かずあき

三石 一彰

はその人にとっての答えであって、自分の人生には当てはまらないかもしれません。賢い選択をしていきたいと思えます。



## 留学の成果を実感したスピーキングの授業

私は、2017年8月～2018年2月までオーストラリアのモナシュ大学に半年間留学しました。私がオーストラリアに留学を決めた理由は、ホームステイができる点に惹かれたからです。実際に半年間ホームステイをし、貴重な経験を得ることができました。私のホストマザーは、留学生の受け入れを10年しており毎日私の留学生生活をサポートしてくれました。毎晩夕飯後には1時間も会話をしてくれ、時には英語の発音や英語の使い方を教えてくれました。休みの日には、マザーのいとこのワイナリーに連れて行ってもらいワインを飲みながら楽しんだり、学校外でもオーストラリアの生活を楽しむことができました。

学校生活は、個人のレベルに合ったクラスに分けられ1クラス20人前後、午前クラス・午後クラスに分かれて一日4時間勉強しました。授業では、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングを教科書を

使い学習しました。中でも私はスピーキングの授業が好きでした。なぜなら、クラスメイトと楽しく会話できた時間だったからです。留学初期は相手に自分の伝えたいことが伝わらず、もどかしい気持ちでしたがマザーや友達、先生と話していく内に段々と自分の思いが言葉で伝えられるようになりました。その成果が実感できるのがスピーキングだったので毎時間会話を楽しむことができました。学校の授業は、英語を楽しんで学ぶことができたので英語を学ぶことを苦痛に感じることはなかったです。

半年間という短い間でしたが、人生で一番濃い充実した半年間でした。本当はオーストラリアから帰りたいというのが素直な気持ちでしたが、オーストラリアで得た経験をこれからの生活に生かし、いつかまたオーストラリアに戻り成長した姿をマザーに見せられるように頑張りたいです。



モナシュ大学

派遣留学生

留学期間：2017年9月～2018年3月

現代文化学部卒業生

竹内 瑞恵

群馬県立前橋西高校出身

## 隣国に触れて

私は去年の9月から4か月間、本校の留学プログラムを利用して韓国の延世大学の交換留学生として韓国で過ごしていました。

私は今回の留学では語学を習得すると共に、現地の学生や住民と触れ合って異文化を超えた深い交流を望んでいました。そんな大きい期待とはうらはら、一人での海外生活は初めてである私は、知り合いもほぼいないため、初めは正直寂しい思いをしたものでした。学校が開始して1、2週間は授業以外で友達に会うことはなく、一人で食事や勉強する日が続いた一方、周りでは仲間を作って楽しく話しながら焼肉などを食べていました。そんな光景を見ながら過ごした期間はもう帰りたいと何度も思ったことを思い出します。

ところが私はある日、一枚の広告と出会いました。それは卓球サークル会員募集の広告でした。卓球が得意だった私はすぐに連絡先に問い合わせし、翌日面接を受けて無事、卓球サークルに加入することが出来ました。この日から私の学校生活はとても充実したものに変わっていったのです。会員が30名ほどおり、

19歳から26歳まで幅広い年齢の方と交流を持つことが出来ました。仲良くなった友人と部活での卓球練習のほかにも大会、飲み会、延高戦観戦等にも一緒に参加しました。友人らと交流していく中で、韓国人は仲良くなったら本当に面倒見が良いことがわかりました。特にサークルのある先輩とかなり仲良くなることが出来、ご飯と一緒に食べる時ごとに先輩方が代わりに払ってくれる時が何度もありました。申し訳なかった反面、とても嬉しかったです。

そのように過ごしていく中で授業に対する取り組みにも自信がつくようになりました。授業内での発言や受講生を前にした発表も行い、またそこで知り合った友人からさらに友達の輪を広げることが出来ました。そのおかげで、授業外でクラスメイトや教授と交流も持つことが出来ました。

私はこの留学で韓国という環境の中で人との絆を始めとする大変貴重な財産を得ることが出来ました。この経験を今後の学びや仕事にも生かしていきたいです。



一番左が橋本さん

延世大学

交換留学生

留学期間：2017年9月～2017年12月

法学部 4年

橋本 泰孝

福島県立平工業高校出身

## イギリス留学で得たこと

私は2017年4月からイギリスのエセックス大学に留学しました。エセックス大学はイギリスの田舎のほうにあるので、大学の周りの自然が豊かでとても過ごしやすい場所です。私は、EELPという語学を学ぶプログラムに参加しました。

最初に来たときは、どこにいても英語を使わないといけないのでとても辛かったです。私のクラスは日本人がいなかったのやっていたり心配でした。しかし、すこしずつ英語で話せるようになり、ほかの国の友達も増えてきました。

休日は、友達とパーティーをして過ごすことが多いです。そこで、たくさんの友達を作ったり、英語で会話したりしています。授業外でも友達と英語で話したり、チャットしたりしてなるべく、常に英語に触れられるように努力しています。その結果、授業もついていける

ようになり、だんだん英語力が上達していきました。

この留学でたくさんのことを得ることができました。英語力もそうですが、コミュニケーション力や行動力なども留学に来る前と比べて改善されたと思います。以前は知らない人とはあまり関わろうとはしなかったのですが、今では自分から積極的に話しかけたりしてたくさんの人と交流することができました。

この留学を通じて、様々なことを得ることができ、自分自身を大きく成長させることができました。この経験を活かし、これから先の人生に役立てていきたいと思っています。



一番左が櫻井さん

エセックス大学

派遣留学生

留学期間：2017年4月～2017年9月

法学部 4年

櫻井 淳

科学技術学園高等学校出身



## 1年間の留学生活を通して

1年の留学期間を通して、多くの事を学び、考えさせられた期間だったと思います。人生の中でこれほど刺激的で、満足できる時間はそうそう無いと思います。勉強面でもそうですし、友人たちとの交流、生活を通して、今まで見ていた世界が一段と面白く、興味深く見えてくるのを強く感じました。

1年前の私は、留学に行く事を正直「辛い経験をしに行く事。」だと思っていました。理由は、言葉もまともに喋れない、聞けない状態でコミュニケーションを取れない外国人と共に生活を半年間もする事が不安で仕方なかったからです。しかし、そんな不安はすぐになりました。みなフレンドリーで、日本人の様な人と人との壁を感じる事が全くありませんでした。

なので、思っていた以上に早く仲良くなる事ができ、思っていた以上に満足のいく交友関係を作る事が出来ました。留学生と共にいった遊園地や、友達と一緒に夜中まで勉強した時間、散歩をしながら将来の夢や好きな事の話をした時間、時には友達が辛い思いをして泣いてしまい、それを隣で慰めたりもしました。それを含めて、留学生活で経験したことは、何にも代え難い素晴らしい思い出だったと思います。その分、別れる時は心が痛かったです。この人たちと今後も共に生活を送れたら良かったと心から思いました。私を思い泣いてくれる友達、私も友達を思い泣きました。そんな友達を作れて私は、心から良かったと思います。



3列目の一番右が佐平さん

聊城大学

交換留学生

留学期間：2017年2月～2018年1月

経済経営学部 4年

佐平 晴矢

沖縄県立宮古高等学校出身

## 異文化に触れて

私は、2017年の4月から7月までの約4か月、ドイツのミュンヘン大学に留学しました。そこでの生活は、とても貴重な体験が沢山ありました。留学をする目的というのは、専門の勉強を本場でしたい、語学力をもっと磨きたいなど様々な理由があると思います。私は、文化を意思の疎通方法、文学、建築物など多面的な角度から見て比較し理解を深める学習をしています。なので、実際に異文化に囲まれて直接目にしたい。そして、それをどの様に感じるのかを体験してみたいという思いがきっかけでした。

4か月という期間は、いい意味で私にとってドイツでの生活に慣れることでほぼ終わったと思っています。それは、現地の文化に馴染みそれを理解するということがとても時間がかかり、1人だけでなく様々な人から同じ体験を与えられてようやく異文化として実感し身についていくもののだと感じることが出来たからです。それは、現地でも出会った多くの日本人留学生や海外在住者と話す中で感じたことでした。私が知り合った留学生の多くは昨年の秋からドイツに来ている方が多く半年間の生活で何が面白い刺激となったか、嫌だった

か、日本とドイツではどちらのほうが良いと思ったなど日本人目線で見たドイツを教えてくださいました。在住者の話では、更に深く異文化に囲まれて生活することの大変さとその中で得られる柔軟な思考について考えさせられるものが沢山ありました。また、ドイツ人から聞く自国のイメージと日本のイメージ、日本に来たことがあるドイツ人の自国に対するイメージと日本に対するイメージの差もとても興味深いものでした。日本人は、生真面目で穏やかな人が多いと良い印象を持っていただいていた人や切腹や武士、忍者など一部の知識によって今でも着物でくらししている人が大半だと思っていた人。日本人は愛想がよすぎて何を考えているのかわからず困る等、日本にいたら知ることは出来ない事です。こうして、多くの人と知り合って様々な考えを聞いたことで、改めて日本文化について良い面も悪い面も考えられました。そして、異文化の差により前提の善意が違うことでお互いに誤解してしまうことがあるので、もっと文化を学び、自分がそのようなことをしないように、そのような勘違いが生まれないように正しく日本文化を広めていきたいと思っています。



左が熊谷さん

ミュンヘン大学

交換留学生

留学期間：2017年4月～2017年9月

現代文化学部 4年

熊谷 遥花

クラーク記念国際高等学校出身

## ビールを通して学んだこと

私が一年間留学して一番楽しかったことは“飲み会”です。こう聞くとあまりいいイメージはないかもしれませんが。しかしドイツはビール大国であり、フリューリングスフェストやオクトーバーフェストをはじめ様々なビール祭りが開催されています。ビールを飲むことはドイツの文化を学ぶことの一つだと言ってもいいと思います。

ドイツでビールを飲んでいるうちにドイツの人達と日本人のお酒に対するイメージが少し違っていると感じました。それは、日本ではお酒に対する負のイメージが多少なりともあるということです。一方でドイツではお酒に対する負のイメージがありません。そのため多くの飲み会が開かれます。金曜日、土曜日はもちろん月曜日や木曜日など次の日に仕事や学校がある日でも普通に行われるのです。ビールが大好きな私には最高でした。

また、“飲み会”とは言っていますが日本で考える“飲み会”とは少々異なります。日本の場合、飲み会は個室などで行われ全員が顔見知りであることがほとんどです。一方でドイツでは個室などはありませんから大人

数で飲むことができ、友達の友達が呼ばれて来ることが当たり前のようにあります。そのため人脈が広がるきっかけにもなりますし、様々な話を聞くことが出来ます。

そして、“留学中の飲み会”は日本国内での飲み会と大きく違う点があります。それは“一年間”という短い期間ではわからないようなことを長くドイツに住んでいる人との会話により知ることが出来るという点です。例えば私はビールのお祭り、オクトーバーフェストに行きましたがとても楽しく陽気なドイツ人が多く集まっているのだと思いました。ですが実際には、開催されてから最初の一週間ほどはドイツ人が多いですが、その後はドイツ以外の国から旅行で来る人が多い（後半一週間になると夏休みに入るため）ということを知ることができました。また、大きな教会が多く、キリスト教を信仰している人が多いドイツではありますが、現在の若い人達は教会に通う人はほとんどいなく、キリスト教について詳しく知っている人もあまりいないということ、その他文化やイベント、法律についてなど



最後列真ん中が富樫さん

ミュンヘン大学

交換留学生

留学期間：2017年4月～2018年3月

経済経営学部 4年

富樫 薫

北海道札幌平岡高等学校出身

幅広く話すことができ、飲み会を通し多くのことを楽しく勉強できました。



# NEW CHALLENGERS

## 2018 ~新たな冒険者たち~

Good Luck!!



春から留学を開始する  
2018年度交換・派遣留学生在が意気込みを語る!



カリフォルニア大学サンディエゴ校

派遣留学生

留学期間：2018年4月～2018年9月

現代文化学部 3年

中村 忍

埼玉県立浦和東高等学校出身

### アメリカに行って頑張りたいこと

私は、アメリカに留学に行つて英語をもっと勉強したいと思いました。英語はもともと、中学生の時に成績で「1」をとり得意だった訳ではありませんでした。しかし、高校受験のために中学2年生の時に塾に通い始め、だんだん英語が得意になり同時に好きにもなつていき、中学3年生の時には「5」が取れるようになつていました。その頃から英語を勉強するようになり、海外の映画や、音楽が好きで暇な時は見たり聞いたりするようになりました。英語があまり得意ではない人は、私もそうでしたが、日本人だから英語は必要ではないと言いますが、それは間違っていると思います。今はグローバル社会になってきているので、英語ができて当たり前時代になってきていると思います。私は英語を身につけ、将来的には英語関係の仕事に就きたいと考えています。その夢を実現する為海外留学に行くことで、英語力は向上すると思います。学生である今、駿河台大学の留学制度を利用して、

自分にとつても良い機会なので挑戦してみようと思います。もし、留学に行こうか迷っていたり、少しでも興味がある人はチャレンジしてほしいです。日本でも英語は勉強することができますが、あまり実用的な英語を使う機会はないと思います。日本で勉強したからといって英語を話せないとは限りませんが、日本で勉強するより留学に行つて勉強をする方が確実に伸びると思います。

その他にも、日本とは異なつた生活や環境などが、とてもいい経験になると思います。

アメリカのサンディエゴは1年を通して天候が良く、とても過ごしやすいです。そしてとても海が綺麗ななので、サーフィンをしたり、サンセットを見たいです。学校のない土日にはサッカーをしたいと考えています。

今回の留学はたくさんの人の支えがあつて成り立っていると思います。高いお金を払ってくれる親などに感謝をして、そのぶんしっかり勉強をしたいと思っています。

### 目標の実現に向けて

私には、将来心理カウンセラーになるという目標があります。カウンセラーとして悩みを持った人々をサポートしていくには、今までとは違つた、より深い人間観を養うことが重要だと考えました。アメリカで異なる文化、生活環境、宗教など、多種多様な価値観や考え方をを持った人々と接することで、人間への理解を深め、自分自身に付加価値をつけていきたいと思っています。

更に、心理学を学ぶ基礎として英語力を高めると、それだけ自分の研究にも活かせるようになり、知識の幅が広がります。学問のための英語力と、人とのコミュニケーションのための英語力の両方を伸ばしたいです。

留学では勉強だけでなく、自分自身の成長にも期待しています。アメリカでは、日本よりも「積極性」や「自己主張」が重要とされ、初めは苦労することも多々あると思います。しかし、日本語が通じない中でも、小さな成功を一つ一つ積み重ねていくことで、自信をつけていきたいです。

また、私は今、モダンジャズ研究会に所属しており、

ドラムパートで活動しています。アメリカは芸術活動が盛んで、ジャズ発祥の地でもあります。コンサートに行つてプロの演奏を聴くのはもちろん、大学のジャズクラブに参加して、留学中もドラムの技術を磨いたり、音楽を通じて友人を作りたいと思います。

留学の準備等では至らない点が多く、両親にはたくさん心配をかけてしまいましたが、最終的に留学を認め、サポートや応援してくれたことをとても感謝しています。また、準備の手助けをしてくださつたグローバル教育課の職員の方々やルンズキ先生のおかげで、無事に出発することができました。学校を代表して学びに行くことを常に意識して、一年間を無駄にせず過ごしていきたいと思っています。

Studying in America will make me grow up in many ways. While I'm in America, I'll talk to American as much as possible and I hope to understand the sense of values. I would like to gain extensive experience with the people who have different cultural backgrounds.



カリフォルニア大学サンディエゴ校

派遣留学生

留学期間：2018年4月～2019年3月

心理学部 2年

渡邊 絢加

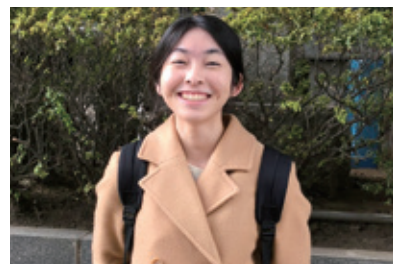
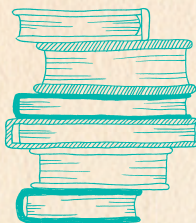
クラーク記念国際高等学校出身



## アメリカ留学の目的

私は、2018年3月から1年間、アメリカのサンディエゴ校(UCSD)に留学することが決まりました。私は中学時代から留学したいと思っていましたが、英語を話す機会に恵まれなかったため、英語で会話する際、すぐに適当な言葉が出てこず、また、海外の人と話すことに慣れていないため、緊張して話が出来ないことがあります。そして、海外に行く機会も多くはなく、1年間留学することに不安は多々あります。しかし、日本語の通じない海外で、英語を学びたいと思っている多くの人と過ごすことは、英語の能力向上に役立つと思います。また、マナーや日常生活において、日本とは異なる点が多くある環境で、多様な価値観や考え方を知ることや、留学中のさまざまな経験から得るものにより、帰国した後、自分が成長出来たと思える、また周囲からも思ってもらえるような1年を過ご

たいと思います。そして、心理学では、大学院の試験で英語が用いられていたり、心理学の本で使われるデータが英語で書かれているなど、英語に触れることが多くあるため、心理学の本を読み、帰国後の授業に生かしたいと思います。



### カリフォルニア大学サンディエゴ校

#### 派遣留学生

留学期間：2018年4月～2019年3月

心理学部 2年

蛭田 明日香

ルネサンス高等学校出身



左が保戸塚さん

### カリフォルニア大学サンディエゴ校

#### 派遣留学生

留学期間：2018年4月～2019年3月

現代文化学部 3年

保戸塚 亮太

クラーク記念国際高等学校出身

## アメリカでの目的と計画

私は3月から1年間アメリカのカリフォルニア大学に行きます。去年の夏に海外語学演習を利用して、オーストラリアのメルボルンで一か月間生活したことが、今回アメリカに行きたいと考えたきっかけになりました。

オーストラリアでの生活は、日本とは全く異なっていたので、言語と文化の変化に適應するのが大変でした。しかし、現在はその経験が私の強みになっていると思います。

私はオーストラリアから帰ってきて、英語の勉強をする時間を増やしました。1日2時間は必ず英語に触れるようにしました。例えば、英語の音楽を聴いたり、電車の中で英語の単語帳を読んだりまず英語に触れることを大切にしました。その効果もあり、テストなどの点数は自然と上がっていきました。毎日英語に触れるということはとても大切だと気付かされました。

私の目標はアメリカで多くの友人を作り、勉強をして、アメリカでの生活を有意義にしていきたいことです。そのため何事にも積極的に行動していきたいと思っています。最終的にはTOEICで700点以上を取り、英語を日常的に使う企業に就職したいと考えています。しかしTOEICだけでは、英語は話せるようにならないので、英語を話す環境を大学内で作っていき、自分だけではなく周りの学生も巻き込みながら、駿河台大学をより国際的な大学に作りあげていきたいと思っています。

## 留学に向けての意気込み —駿大生の夜明け—

駿河台大学に来て、もはや3年間経った。大学でたくさんの知識を学んだ。それと多くの日本の学生さんや先生との絆を結んだ。当初、私はただ学歴だけを目的に、日本に留学しに来た。しかし、留学を通じて、留学先の国の文化や風土、人情をよく味わって、世界は繋がっているということを実感した。人と人の間では、国境が存在しない。人は国境を越えて心を通い合わせることができる。

私は1年生の頃、大学のキャリア基礎という授業を履修した。当時の担当の先生から、駿大生は社会人基礎力を身に付けなければならないと教えてもらった。2年前の私には意味が良く分からず、きちんと単位をとれば関係ないではないかと思った。しかし、今は理解できるようになった。駿大の学生に必要なのは文章力、理解力、他人とのコミュニケーション能力のほかに、人の前で自信をもって正々堂々と話せることである。名門の大学だろうが、若い大学だろうが、いくら勉強力、知識を持っていても、自信がないと、社会

人になってから、なかなか前に進めないと思っている。相手が外国の方にもかかわらず、普通に自信をもって話せば、それは十分だと理解した。

私は今年ドイツのミュンヘン大学に交換留学に行く。この三年間、振り返って考えてみれば、本当に一瞬である。まだいろいろやりたいことがいっぱい残っている。しかし、私も自らどんどん成長していかないと、先生たちも困るだろう。留学の一年間を通じて、どんどん成長できるように頑張っていきたいと思う。今まで指導をいただいた先生たちや教職員たちに感謝の言葉しか出ない。

来年桜舞う日に、また大学の中庭で会いましょう。私はこれから駿大生の一人として、胸を張って、前に向かって、まっすぐにいく。駿大の生徒はみんな綺麗な夜明けが待っていると思う。私たちは春に浮かれる蝶のように世界に歩み出す。

燦々と きらめく波や 夏の暁(あけ)。



前列左から5番目が孫さん

### ミュンヘン大学

#### 交換留学生

留学期間：2018年4月～2019年3月

経済経営学部 4年

孫 暉 (SUN HUI)



## 留学の意気込み

私が留学してやりたいことは3つあります。1つ目は中国語の勉強をすることです。大学の第二外国語学習で中国語を選択したのは就職で有利になるだろうと思ったからです。しかし、段々、中国語を勉強するのが楽しくなり、中国語を使う機会の無い日本より本場で本格的に勉強したくなりました。やはり中国語は日本ではまだ少しマイナーな言語という位置付けらしく、ちゃんと勉強するには留学が1番効率が良いと思いました。これが今回の留学のきっかけであり、最大の目的です。

2つ目は外国人の友人を作ることです。私は人見知りな性格とは言えません。インドア派で大した趣味は無く、スポーツも苦手なので余計に人と関わるのが苦手です。留学をするのが悩んでいた時も外国で生活なんてできるのか？中国語が上手く話せるのか？すぐにホームシックになるんじゃないか？人見知

りなのに大丈夫なのか？など、不安が尽きませんでした。しかし、留学先の聊城大学の留学生は様々な国から集まっていると聞きました。人見知りとは言え、留学生用の寮は二人部屋だし、どの国の人と同じ部屋になるか分からないため積極的にコミュニケーションをとらなければ生活できません。この機会に人見知りを克服したいと考えています。

3つ目は中国で旅行することです。私は旅行が好きで、海外の観光スポットの写真集を見て中国に行ったら旅行したい場所がたくさんあります。さすが中国4000年の歴史と言うだけあって魅力的な場所に溢れています。また、日本とは違った食文化があるので旅行先でじっくり散策し、気に入った料理を探したいです。

留学してから本当に生活できるのか不安はまだありますが、充実した意義のある半年間にしたいと思います。



聊城大学

交換留学生

留学期間：2018年2月～2018年7月

法学部 2年

大橋 優美

日本放送協会学園高等学校出身

## 留学中にしたいこと

私は3月1日から1年間、中国の山東省にある聊城大学に留学します。振り返ってみると、大学入学時は日本から離れて留学しようと思ったことがありませんでした。しかし、中国語の授業を受けるうちに中国語と日本語だけが唯一の漢字を使う国なので、共通した部分が多く、今まで習ってきた英語よりも勉強しやすいと感じて、受け身ではなく自主的に中国語の勉強をするようになりました。大学1年生の秋にはHSK中国語検定2級に合格すると、先生から留学を勧められて、そこで初めて留学について考えるようになりました。

それから1年以上が経ち、ついに中国での長期留学が始まろうとしています。初めての中国で健康や食事、治安など不安な面はありますが、今はワクワクした気持ちの方が優っています。なぜなら、日本語が通じない行ったことのない場所へ行くことや、中国人はもちろん、様々な国の留学生と交流することが楽しみだからです。最初のうちは語学力が足りなくて困ることもありますが、真面目に楽しく中国語を学び、上達させて、出来ることを増やしていく過程が面白いと

思います。また、語学学習以外にも広い視野を持って文化について学んで、実りの多い留学生活を送りたいです。

他にも、聊城大学の学生や他の国から来る留学生との出会いを大切にしたいです。言葉が通じなかったり、文化や考えが違ったとしても、同じ大学で学習する仲間なので、仲良くコミュニケーションをとっていききたいです。コミュニケーションをとるにあたって、私は昨年の夏に韓国に短期留学をして、韓国語を勉強して来たので、聊城大学に多く来ている韓国人留学生とは韓国語でも会話できるようにしたいと考えています。

このように、留学では様々な経験をしたいと考えています。こんなに前向きな気持ちで留学直前を迎えられているのも、留学を承諾していつも支えてくれる親と手厚いサポートをして下さる先生方、グローバル教育センターの方、大学のおかげだと思うので、1年間留学出来ることに感謝して、立派に成長出来るように頑張ります。



右が藤本さん

聊城大学

交換留学生

留学期間：2018年2月～2019年1月

法学部 3年

藤本 拓弥

東京都立昭和高等学校出身

## 三度目の中国

二月の中旬、まだ凍つく寒さに布団から出られない朝が続いていますが、日中は徐々に暖くなり、春の到来を感じています。そんな三月が近づいているのを身をもって感じ、いよいよ長期留学に出發するんだなど実感が湧いてきました。

私は中国には中学と大学とでそれぞれ一回ずつ行っているのですが、中国語が堪能な訳ではありませんので、随分と苦勞をしたのを覚えています。今回の留学でも、言葉の壁にはぶつかるとはありますが、前回と違うのは約五ヶ月も現地に滞在するということです。それだけの時間を勉強する以外はただ持て余すのではなく、積極的にいろんな国の人と話す努力などをしていきたいです。そうすればおのずと語学留学の結果はついてくるとは思います。少しでも多くのことを学ぶために一生懸命勉強して、友達と遊ぶときは全力で楽しむ。そんなメリハリのついた留学生活を送ることができればきっと五ヶ月後の私は何十倍も大きくなって帰ってきていると思います。

また、来年には公務員試験を控えていますので、警察官採用試験の過去問題集や苦手な数値処理の問題集などを中国語の勉強の傍らしっかりと取り組みたいと考えています。中国に行くことを、ただ日本の勉強から逃げるためだと思われたくありませんし、中国語以外何も取り柄のない人間になってしまったら本末転倒です。そうならないためにも日本の勉強、特に公務員採用試験の勉強は欠かさず行い、なおかつ中国語をしっかりと勉強したことを売りにできるようにしたいです。

三度目の中国では今までになく中国という国や異国の学生に触れる機会だと思うので、いい経験をしたいと思っています。

最後に駿河台大学の代表として聊城大学に留学させて頂いていることを常に忘れず、日本人として、駿河台大学の学生として恥の無いよう礼儀を重んじ、支えてくださった方々のご期待に背かないよう、しっかりと勉学に進みます。



聊城大学

交換留学生

留学期間：2018年2月～2018年7月

法学部 3年

藤原 大樹

関西高等学校出身



2017年度

# 日本留学の思い出



2017年度ドイツ・ミュンヘン大学、  
中国・聊城大学からの交換留学生が  
留学の感想を寄せてくれました。



## 留学のまとめ

私の留学の生活はもう終わりました。この一年間の中に、私はいろいろなことを体験しました。そして、日本語がうまくなっただけでなく、多くの日本人と友達になりました。日本に留学したおかげで、私は日本文化について、理解できました。では、私はこの一年間の留学の生活について、詳しくまとめます。

まず、日本語の学習。日本に来たばかりの時、日本語は上手ではありませんでした。中国で二年間日本語を勉強したとはいえ、日本人の間のコミュニケーションはあまりわかりませんでした。しかし、日本人の先生と友達のコミュニケーションによって、私の日本語がだんだん上達していきました。また、私が選んだ授業に別の分野の知識が多いから、視野を広めました。

さらに、しゃべり場では多くの日本人と友達になりました。その他、中国語の広場で今年、留学で中国に来る日本人の学生を知りました。日本人との交流は、とても良い勉強になりました。

また、日本人の先生のおかげで、私の留学の生活が楽しくなりました。特にグローバル教育課の先生たちは優しく、生活にしろ、勉強にしろ、問題があると、先生たちが熱心に助けてくれました。そして、私たちが日本文化をよく知るために、先生たちはいろいろな活動を行いました。例えば、茶道や花道、浴衣の体験、日本料理作り、送別会など。私は心から感謝を表します。

さらに、この一年間の中に、一番忘れがたい思い出は友達と旅行に行ったことです。私たちは横浜や、京都、奈良、大阪などに行きました。その中で一番好きな都市は京都です。古い雰囲気が溢れていました。今回の旅行によって、私たちの関係がもっとよくなりました。

最後、私は改めて、日本を知りました。まずは日本の交通は便利です。どこでも、電車があります。日本のサービスは完全です。障害がある人でも、自由に出かけることができます。次に、私が会う日本人が全部優しいです。歴史で今の中国でも日本でもお互



聊城大学

交換留学生

留学期間：2017年4月～2018年3月

陳 洪美 (CHEN HONGMEI)

いに誤解があるかもしれませんが、中日の人々がお互いを理解し合えるなら、この誤解が解消することができ、中日の関係が促すことができるかもしれません。

以上是我的留学のまとめです。



聊城大学

交換留学生

留学期間：2017年4月～2018年3月

趙 鑫 (ZHAO XIN)

## 楽しかった一年間

私はチョウキンと申します。中国の聊城大学からの一年間の交換留学生です。日本文化を体験するために日本にきました。日本に来て、もう一年間が経ちました。この一年間は本当に楽しかったです。

最初の頃は、何もわかりませんでした。今では、日本での生活に慣れてきました。日本人の皆さんは優しくしてくれて、本当にありがたかったです。日本での勉強は、日本語の勉強だけでなく、いろんな科目の勉強もありました。日本文化体験もたくさんしました。野球観戦、茶道教室、七夕まつり、浴衣着付け体験、生け花体験、大相撲観戦、歌舞伎見学、もちつき大会などを体験しました。6月1日に「埼玉西武ライオンズ応援ツアー」に参加しました。初めての野球観戦となり、試合だけでなく、球場全体の雰囲気にも興奮気味になりました。6月30日に学生寮フロンティアタワーズの茶室に茶道を体験しました。茶室に入ると、姿勢を正し、茶室の説明、茶道具の名称や作法など学びました。そのあと、茶筌を持ち、自分で美

味しい抹茶ができあがりました。この体験によって、お茶の正しい作法を知り、日本文化への理解が深まりました。7月5日には七夕祭りに参加しました、そうめんを食べながら、自分の国で行われている七夕の風習について発表しあい、国や地域による七夕の風習の違いについて学ぶことができました。7月21日に浴衣の着付けと生け花を体験しました。私たちは初めて浴衣を着て、友達とたくさん写真を撮りました。生け花体験では、講師から生け花の歴史や花器の種類、どのように生ければ花が作るかを勉強して、教科書で勉強した日本の伝統文化である「華道」について学ぶことができました。最後は、夏休みに「江戸・両国大相撲観戦ツアー」に参加しました、相撲は日本の国技として、長い歴史があります。国技館に相撲を観戦して、その激しさを感じました。

この一年間で、充実した留学生活ができました。この体験は私の宝物で、一生忘れられないと思います。

## たくさんの思い出を作りました

日本で一年間の留学生活を送りました。いい思い出をたくさん作りました。留学の感想も沢山あります。

留学期間中にいろいろ体験したことは忘れられないと思います。滞在中は、慣れないこともありました。例えば、日本料理の味が薄いことです、中国料理の濃い味が恋しくなりました。でも、時間が経つにつれて、日本の食事にだんだん慣れました。日本に行って一ヶ月が経ち、ちょうど桜が咲きました。以前、その風景をアニメで見たことがありました。公園で花見をしながら散歩しました。お弁当を持って公園で友人と一緒に花見を楽しむことができ、本当に良かったです。

学校のイベントのおかげで、実際に日本の文化を感じることができました。例えば、生け花や茶道、書道などのイベントです。しゃべり場で日本人と話して、自分の日本語の能力も上達しました。夏休みに友達と一緒に大阪や京都、奈良などへ旅行に行きました。関西の雰囲気は関東とはちょっと違うと思いました。関西は関東より賑やかだと思

いました。一番印象に残ったのは、大阪の通天閣の頂上で夜景を眺めたことでした。その時の気持ちは本当に良かったです。目の下の景色はとても綺麗でした。冬休みは温泉に行ってリラックスすることが出来て、本当に癒されました。

大学は関東にあるので、暇な時は東京に遊びに行きました。朝の通勤電車は満員で、本当に大変だと思いました。そして、日本人は本当に仕事に一生懸命だと思います。高齢者であってもまだ仕事を続けている人も沢山いました。その頑張る精神に本当に感心しました。

一年間は本当に早かったと思います。日本に留学して本当に良かったと思います。この一年間で面白いイベントに参加して、日本の文化を感じて、日本人の友達を作りました。いい思い出を作りました。将来もしチャンスがあれば、もう一度日本に留学したいです。



聊城大学

交換留学生

留学期間：2017年4月～2018年3月

侯 真秋 (HOU ZHENQIU)





## 聊城大学

## 交換留学生

留学期間：2017年4月～2018年3月

徐昊 (XU HAO)

## もう一回日本に戻りたい

去年の4月の初め、私は日本に留学しました。それから今まで日本での生活はあっという間に一年ぐらい経って、もう終わりました。

期待を胸にしなが、日本に到着した初日は今でもはっきり目に浮かびます。最初の大きな不安感を抱いて、この知らなくて行ったこともなかった異国に来てから、一年経った今の私は、スムーズに日本人と交流することができるようになり、自分が多くの体験を通じて、大きく成長したと感じられます。

また、今回の留学生活によって、自分の視野が広がったように思います。学校の先生と日本人の友達はとても親切ですし、授業の内容も面白かったです。日本語力を向上させるための授業では、様々な国の学生たちと一緒に勉強して、友達になると同時に、いろいろな異国の文化に触られました。

この一年の留学生活を振り返ると、私は

様々な活動に参加しました。この期間に、相撲の観戦とか、野球の試合とか、歌舞伎の観覧とか、茶道、書道、華道の体験とか、有意義なことをたくさん体験しました。これらのイベントを通して、日本の国技と伝統文化などについて、もっと深く理解できました。本当の宝物だと思います。

一年間の交換留学生生活はあっという間に過ぎ去って、今の私はもう中国に戻りました。非常に惜しんでいます。でもその過ごした一年間は、とても充実して楽しかったです。駿河台大学での留学経験は、一生忘れられない貴重な体験になりました。そして私は中国に戻っても、自分の初心を忘れず、ぜひもっと頑張っていきたいと思います。この間、いろいろなお世話になりました。大変ありがとうございました。

## 日本でできた体験

ミュンヘン大学で日本学を勉強し始めた時から、日本に来るのは私の夢であった。私は、日本に神秘的なイメージを持っていたので、生活してみたかった。去年、留学のチャンスをもらい、駿河台大学に留学することになった。この1年間、いろいろな体験をし、日本文化や日本の社会について分かるようになってきて、日本語も少しずつ上達してきた。

先生たちもグローバル教育課の職員もよく私たちの面倒をみてくれた。困った時に相談ののってくれたり、日本文化を体験するための様々なイベントを計画してくれた。浴衣の着付け体験、生け花体験、茶道体験、そして、書道やお正月遊び、大いに楽しんでいた。お正月遊びの日では、皆と一緒におせち料理を食べた後、凧あげを体験した。風があまりなく、一生懸命走った。徐々にこどものように遊べた。疲れたけれど、とても楽しかった。

もちろん、留学生活で印象に残ったのはイベントに参加したことだけではなく、日本人学生との付き合いも大切にしていた。何回も食事会や飲み会に行き、日本語でたくさん話をして、日本語能力も上達し、皆と仲良くなった。和食も日本に来て初めて食べて、非常に好きになった。

更に、夏休みに、私はヒッチハイクで日本中旅することができ、いろんなところに行った。一ヶ月間で日本全国を回ったため、日本の生活と人々についてわかるようになった。日本の自然を見て、古い町を観光して、たくさん優しい人と出会ったことはいい思い出になった。

この一年間は楽しく過ごした。いろいろな食べ物を食べ、いろいろな人と友達になり、日本語能力も上達し、日本文化を満喫した。私の留学生生活はよかったと思う。



## ミュンヘン大学

## 交換留学生

留学期間：2017年4月～2018年3月

BEZRUKOVA DARIA

グローバル教育センターでは、語学学習をサポートし、楽しく学ぶ場を提供しています。英語の学習方法がわからない、英語の授業についての質問があるなど、英語の学習についてわからないことがあれば、気軽に相談することができます。語学試験の問題集、外国の読み物やマンガ・雑誌もあり、教材付属のCDも利用できます。長期・短期の留学に関する相談を受けることもできます。外国語学習に対して関心がある人、少し苦手だけど挑戦したいと考えている人は学部・学科関係なく誰でも利用できますので、気軽にお越しください。



グローバル教育センター